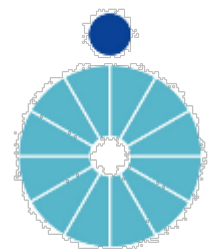


# トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム 「地域人材コース」 各地域の取り組みのご紹介 ver.7

令和4年6月  
文部科学省  
官民協働海外留学創出プロジェクト



文部科学省



トビタテ!  
留学JAPAN

その経験が、未来の自信。



JASSO



# 目次



## 1.地域人材コースの概要

- (1) 「地域人材コース」創設の背景
  - ☆地域における人材確保の課題と解決案
  - ☆地域に根ざしたグローバル・リーダー育成の政府方針
- (2) 「地域人材コース」の目指す姿
- (3) 「地域事業」に必要な4つの要件
  - ①目的・中長期的戦略、②プログラムの設計、③実施体制の整備、④資金の拠出・管理
- (4) 「地域人材コース」の特徴
- (5) 「地域事業」の主な流れ
  - ・学生募集、学生選考、地域プログラム
- (6) 地域イベント
  - ・授与式、壮行会、報告会
- (7) 採択地域間の情報共有

## 2.各地域事業のご紹介



# 1. 地域人材コースの概要



# 「地域人材コース」創設の背景



全国の地域を含めたALL JAPAN体制で  
日本の「**グローバル化**」を促進したい

日本の「**地域活性**」を担う  
将来の優れたリーダーを  
地域とともに創出したい

その舞台として  
よりリアルな学びのある  
「地域」を活用したい



# 地域における人材確保の課題と解決案



- 従来の留学では・・・



海外留学



「地域で働く」ということを知ることなく、首都圏などに流出

- 「地域人材コース」では・・・



プログラム

海外留学



地域での  
インターン  
シップ



地域企業の支援で留学し、さらに地域で働くことを体験することで、地域への  
**「縁と恩」** を醸成



## ○まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015改訂版）

（平成27年12月24日閣議決定）〔 P48・50抜粋 〕

### 2. 地方への新しいひとの流れをつくる

#### (工) 地方大学等の活性化

##### ③地域人材育成プラン

大学や高等専門学校、専修学校、専門高校をはじめとする高等学校における地域の地方公共団体や企業等と連携した取組を強化することにより、地域産業を担う高度な専門的職業人材を育成し、また、地元企業に就職する若者を増やすとともに、地域産業を自ら生み出す人材を創出する。また、地域に根差したグローバル・リーダー育成の取組を推進する必要がある

##### ◎地域人材育成プラン

大学・高等学校等における地域に根差したグローバル・リーダーの育成や外国人留学生の受入れを推進するため、官と民とが協力した海外留学支援制度（「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」等）の推進や地域における留学生交流を促進する。特に、2015年度開始の「**地域人材コース**」により、地域に根差したグローバル・リーダーの育成を一層促進する。



# 「地域人材コース」の目指す効果



## グローバル人材の育成

※グローバル人材とは：  
「グローバル」と「ローカル」な視点を併せ持つ人材

- 地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材を育成すること
- そこで輩出されたリーダーが地域に貢献することで、人材育成と貢献の循環が出来上がること

## 地域における 産学官の連携

- 地域のグローバル人材育成に向け、地域の産学官が有機的に連携していること
- 自立的・継続的な仕組みとして連携が構築されること



# 地域事業に必要な4つの要件

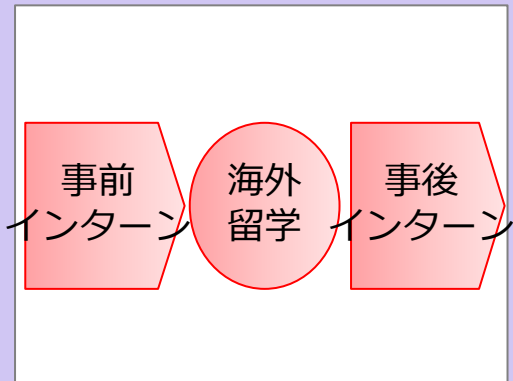


1

## 目的・中長期的戦略

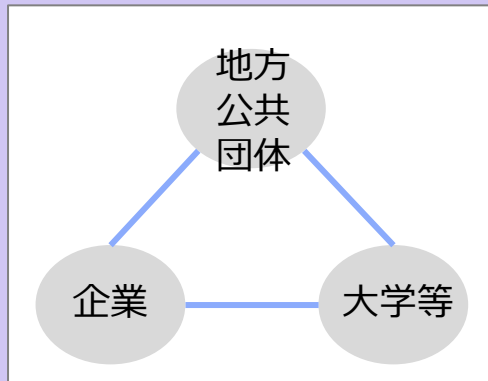
2

### 独自プログラムの設計



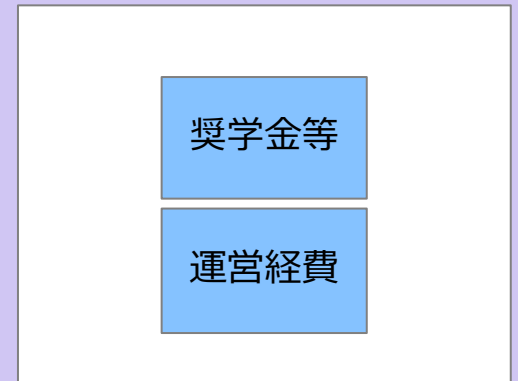
3

### 実施体制の整備 《地域協議会》



4

### 資金の確保

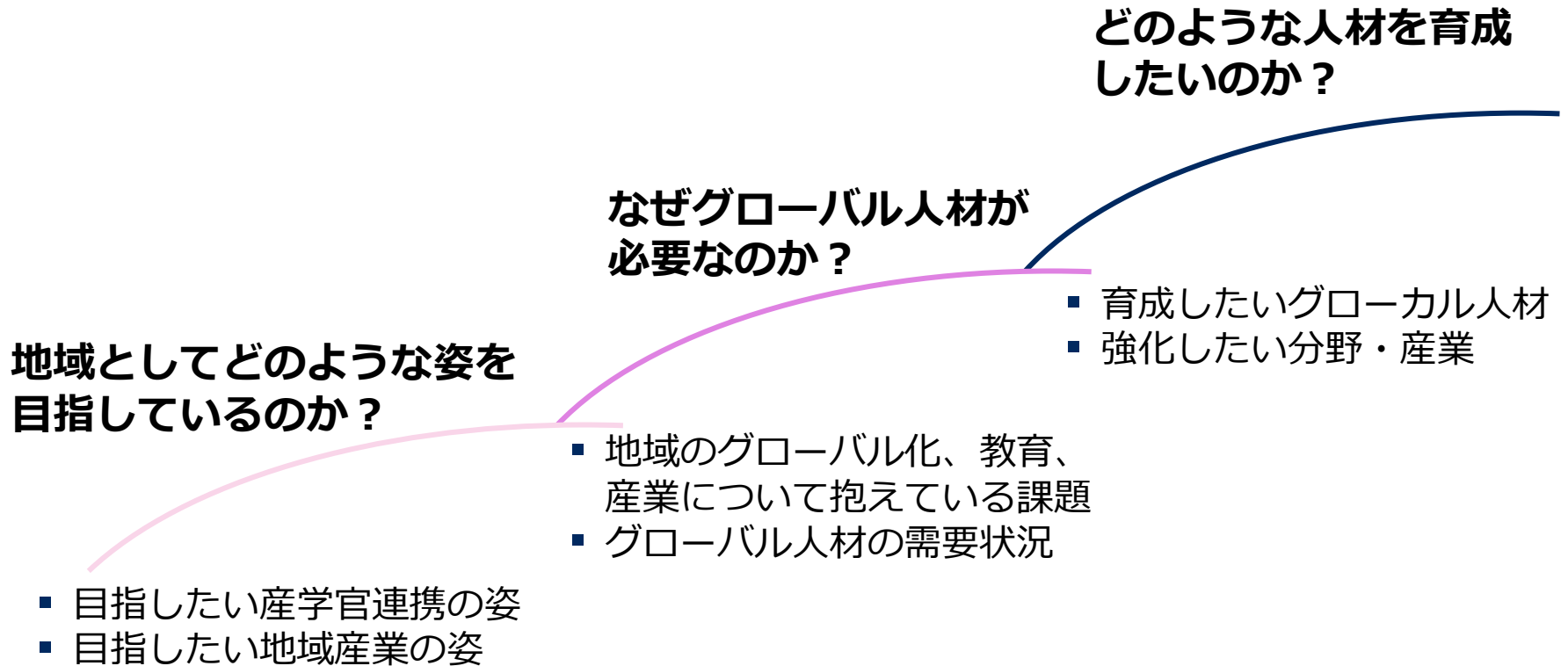






# ① 目的・中長期的戦略

地域人材コースでは、それぞれの地域として実現したいことや育成したい学生像を設定





## ② 独自プログラムの設計



「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

事前  
オリエンテーション

地域企業  
インターンシップ

海外留学

地域企業  
インターンシップ

事後報告会

事前  
オリエンテーション

- 地域プログラムの目的や課題の理解、地域独自の事前オリエンテーション

1日以上

地域企業  
インターンシップ

- 地域の活性化・地域への貢献を実現するための、事前あるいは事後インターンシップを実施（事前事後両方も可、国内でのインターンシップに限る）

事前・事後合わせて  
20日間以上

海外留学

- 実践型留学（インターンシップ、ボランティア、フィールドワーク等を含むもの）
- 各地域のテーマや課題を設定

28日以上1年未満  
（3カ月以上推奨）

事後報告会

- 地域プログラムの目的や課題の理解、地域独自の事後報告会

1日以上

※上記とは別に、日本代表プログラムの事前・事後研修への参加も必須  
 ※プログラムの実施時期は、日本代表プログラムの留学開始時期に準ずる

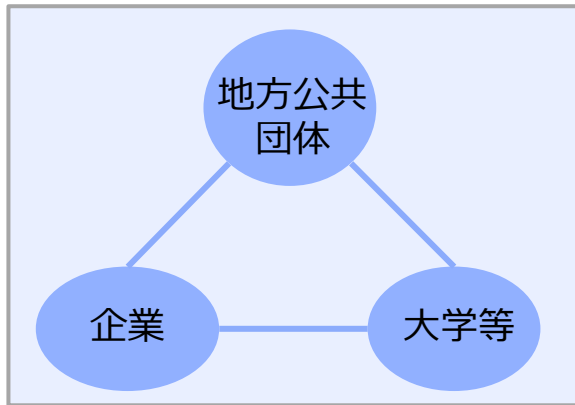


### 3 実施体制の整備

#### －地域協議会の設置－



#### 地域協議会



- 地域協議会は、各地域の企業等、地方公共団体、高等教育機関により構成されること。（その他グローバル人材の育成に関心を持つ団体等も参画することが可能）
- 奨学金等に充てる資金を拠出できる企業が10社以上参加していること
- 法人格を持つ組織または法人格を持つ団体内に事務局が設置された組織であること

#### 代表者

- 地域事業の責任者

#### 事務局

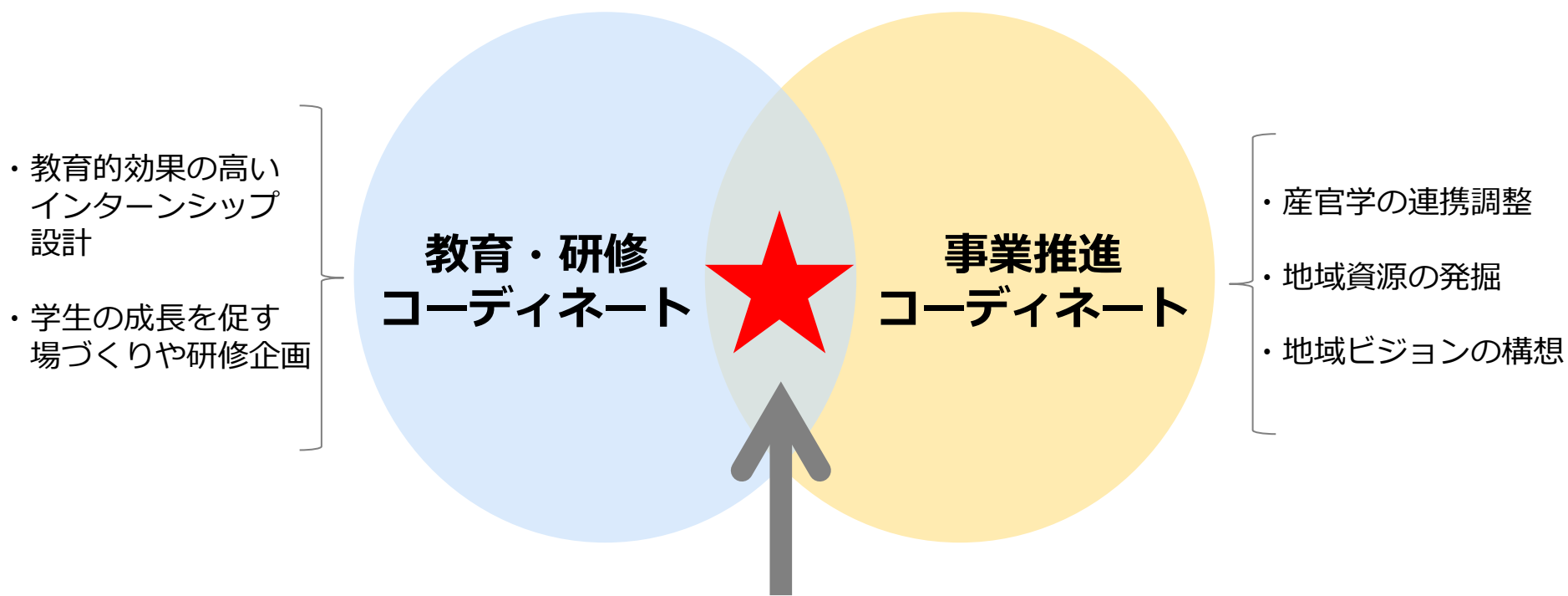
- 地域事業全体の統括・運営

#### 地域コーディネーター

- プログラムの企画・運営の責任者



# 『地域コーディネーター』の役割



若者と地域資源をつなぎながら、  
地域の新しいチャレンジを生み出す「中心的な存在」

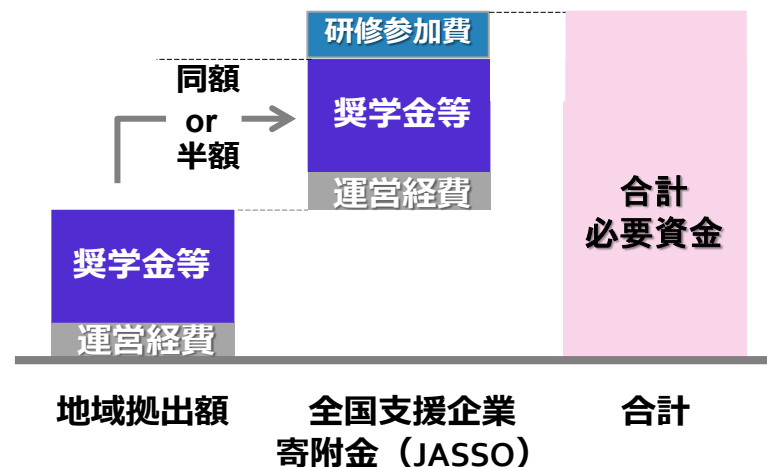


# 4 資金の確保



## 基本方針：

- 地域協議会は、地域事業の実施に必要となる奨学金等・運営経費に充てる資金を確保
- (独法)日本学生支援機構（JASSO）を通じて、全国支援企業寄附金から奨学金等及び運営経費の必要金額の半額を補助



地域協議会	奨学金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域協議会として、年間300万円以上の寄附金等を10社以上から確保</li> <li>■ 地方公共団体や大学も支出する場合は、合わせて地域拠出分全体の3分の1まで（初年度のみ2分の1）</li> </ul>
	運営経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域事業の実施に係る運営経費を捻出</li> </ul>
全国支援企業寄附金（日本学生支援機構）	奨学金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域拠出分の金額に対して同額をマッチング（4年度以降半額マッチング）</li> <li>■ 支援額は1,200万円を上限とする</li> </ul>
	運営経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 対象となる費目に係る金額の半額を支援（4年度以降のマッチング上限は3分の1）</li> </ul>
	研修参加費	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全共通プログラムの事前・事後研修参加費を全額支援</li> </ul>

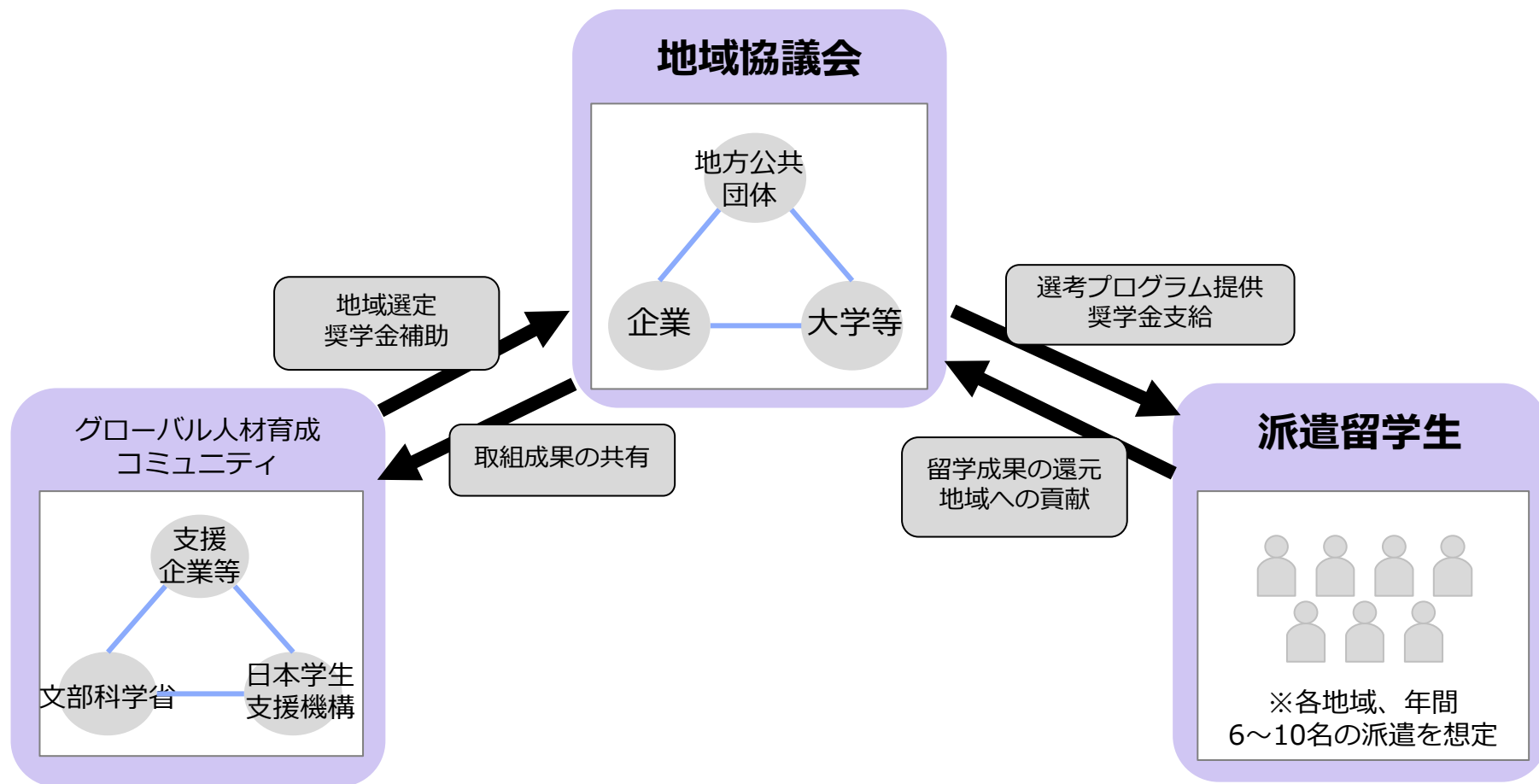


# 「地域人材コース」の特徴



## 「地域人材コース」

「地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材」の育成を目的とし、地域の産学官が主体となって実施する事業





# 「地域事業」の主な流れ



## A 独自プログラムの設計

各地域の企業、地方公共団体、教育機関等が連携し、地域の活性化に資する独自のテーマを設定。それに即した海外留学及び地元企業でのインターンシップを組み合わせたプログラムを設計。

## B 地域事業の選考・採択

①実施体制の整備、②独自の資金拠出、③プログラムの設計・運営ができる地域を機構が選定し、事業立ち上げ支援として派遣留学生への奨学金等及び運営経費を補助

## C 学生募集

各地域が設定した要件に沿った派遣留学生を募集

## D 学生選考

各地域が派遣留学生を選考。他コース同様、学生コミュニティや事前・事後研修への参加を義務付け

## E 独自プログラム

「留学」と「インターンシップ」を組み合わせた効果の高い『教育プログラム』

※概要はP10を参照



# 学生募集



各地域が地域課題を解決しようとする意欲をもとに  
派遣留学生を様々なツール、ルートで募集

## ウェブサイト

募集専用ウェブページを設置

## ポスター等

地域独自のポスターを作成し、  
関係各所に掲示

## 各種メディア

各地域メディア（新聞、テレビ、ラジ  
オ等）への地域事業のプロモート

## SNS

地域独自のSNSアカウント等を通じた  
情報発信

## トビタテ生主催 説明会

各地域の全国コース・地域人材コース  
のトビタテ生と連携し、実体験を語る  
留学相談会やイベントを開催

## 他地域での 説明会

他地域において、他地域在住学生を  
対象とした募集説明会の開催  
※Uターン・Iターン募集がある地域に限る



静岡県オリジナル  
ウェブサイト



熊本県オリジナルポスター



トビタテ生主催  
留学相談会  
「トビタテ! 留学カ  
フェ@北海道」





# D 学生選考 ～モデルケース～



**民間選考委員** (人物評価：支援企業等)

書面審査と面接審査を担当



**専門選考委員** (計画評価：大学教員等)

書面審査のみを担当

**一次審査**

(書面審査)

**二次審査**

(面接審査：グループワーク、個人面接)

**地域合格者**

**決定**



過去に行われた  
地域協議会選考会の様子 (宮崎県)



過去に行われた  
地域協議会選考会の様子 (福山市)



# 学生選考

## <応募人数・採用結果（第3～5期）>

※採用後の辞退者含む



地域名	平成27年度後期 第3期		平成28年度前期 第4期		平成28年度後期 第5期	
	応募人数	採用人数	応募人数	採用人数	応募人数	採用人数
栃木県	10名	<b>5名</b>	－	－	12名	<b>3名</b>
三重県	11名	<b>5名</b>	－	－	6名	<b>5名</b>
岡山県	19名	<b>4名</b>	－	－	17名	<b>7名</b>
徳島県	12名	<b>8名</b>	－	－	10名	<b>9名</b>
熊本県	19名	<b>6名</b>	－	－	13名	<b>7名</b>
大分県	22名	<b>8名</b>	－	－	11名	<b>7名</b>
沖縄県	10名	<b>6名</b>	－	－	15名	<b>8名</b>
いわき市	－	－	16名	<b>13名</b>	－	－
石川県	－	－	13名	<b>7名</b>	17名	<b>11名</b>
奈良市	－	－	13名	<b>6名</b>	－	－
香川県	－	－	7名	<b>4名</b>	9名	<b>6名</b>
長岡市	－	－	－	－	10名	<b>10名</b>
島根県	－	－	－	－	10名	<b>7名</b>
佐賀県	－	－	－	－	7名	<b>4名</b>
宮崎県	－	－	－	－	13名	<b>7名</b>
計	103名	<b>42名</b>	49名	<b>30名</b>	150名	<b>91名</b>



# 学生選考

## <応募人数・採用結果（第6～8期）>

※採用後の辞退者含む



地域名	平成29年度前期 第6期		平成29年度後期 第7期			平成30年度前期 第8期		
	応募人数	採用人数	応募人数	採用人数	留学総月数	応募人数	採用人数	留学総月数
栃木県	－	－	6名	<b>3名</b>	<b>32月</b>	－	－	－
三重県	－	－	6名	<b>6名</b>	<b>19月</b>	－	－	－
岡山県	－	－	9名	<b>6名</b>	<b>36月</b>	－	－	－
徳島県	－	－	20名	<b>10名</b>	<b>25月</b>	－	－	－
熊本県	－	－	8名	<b>5名</b>	<b>56月</b>	－	－	－
大分県	－	－	10名	<b>6名</b>	<b>18月</b>	－	－	－
沖縄県	－	－	11名	<b>9名</b>	<b>27月</b>	－	－	－
いわき市	13名	<b>10名</b>	－	－	－	6名	<b>4名</b>	<b>17月</b>
石川県	19名	<b>12名</b>	11名	<b>4名</b>	<b>26月</b>	7名	<b>3名</b>	<b>10月</b>
奈良市	5名	<b>3名</b>	7名	<b>4名</b>	<b>18月</b>	－	－	－
香川県	－	－	4名	<b>3名</b>	<b>18月</b>	－	－	－
長岡市	－	－	14名	<b>8名</b>	<b>32月</b>	－	－	－
島根県	－	－	10名	<b>6名</b>	<b>44月</b>	－	－	－
佐賀県	－	－	9名	<b>8名</b>	<b>25月</b>	－	－	－
宮崎県	－	－	6名	<b>5名</b>	<b>29月</b>	－	－	－
北海道	－	－	12名	<b>5名</b>	<b>24月</b>	－	－	－
岩手県	－	－	8名	<b>8名</b>	<b>19月</b>	－	－	－
福井県	－	－	8名	<b>8名</b>	<b>8月</b>	0名	<b>0名</b>	<b>0月</b>
静岡県	－	－	19名	<b>5名</b>	<b>37月</b>	－	－	－
長崎県	－	－	9名	<b>9名</b>	<b>28月</b>	－	－	－
計	37名	<b>25名</b>	187名	<b>118名</b>	<b>521月</b>	13名	<b>7名</b>	<b>27月</b>



# 学生選考

## <応募人数・採用結果（第9～11期）>

※採用後の辞退者含む



大学生等 地域名	平成30年度後期 第9期			平成31年度前期 第10期			平成31年度後期 第11期		
	応募人数	採用人数	留学総月数	応募人数	採用人数	留学総月数	応募人数	採用人数	留学総月数
栃木県	8名	2名	23月	-	-	-	8名	5名	47月
岡山県	14名	5名	46月	-	-	-	5名	4名	30月
徳島県	11名	6名	11月	-	-	-	7名	5名	9月
熊本県	13名	8名	71月	-	-	-	12名	7名	57月
大分県	8名	6名	8月	-	-	-	18名	7名	9月
沖縄県	10名	10名	30月	-	-	-	9名	8名	24月
いわき市	-	-	-	6名	4名	8月	-	-	-
石川県	4名	4名	14月	8名	3名	8月	3名	3名	5月
奈良市	8名	5名	24月	-	-	-	9名	5名	12月
香川県	6名	5名	33月	-	-	-	4名	4名	19月
長岡市	13名	8名	39月	-	-	-			
島根県	12名	7名	39月	-	-	-	5名	5名	24月
佐賀県	2名	2名	9月	-	-	-	11名	6名	33月
宮崎県	11名	8名	47月	-	-	-	5名	5名	12月
北海道	12名	4名	44月	-	-	-	16名	4名	31月
岩手県	7名	5名	13月	-	-	-	9名	8名	28月
福井県	5名	5名	6月	-	-	-	4名	4名	12月
静岡県	7名	6名	38月	-	-	-	10名	4名	34月
長崎県	6名	6名	22月	9名	9名	17月	2名	1名	10月
山形県	15名	14名	19月	-	-	-	15名	11名	17月
太田市	13名	6名	13月	-	-	-	8名	8名	15月
福山市	18名	10名	39月	-	-	-	12名	10名	25月
計	203名	132名	588月	23名	16名	33月	172名	114名	453月



# 学生選考

## <応募人数・採用結果（第12期）>

※採用後の辞退者含む



<u>大学生等</u>	令和2年度前期 第12期		
	応募人数	採用人数	留学総月数
栃木県	-	-	-
岡山県	-	-	-
徳島県	-	-	-
熊本県	-	-	-
大分県	-	-	-
沖縄県	-	-	-
いわき市	2名	<b>2名</b>	<b>2月</b>
石川県	9名	<b>5名</b>	<b>14月</b>
奈良市	-	-	-
香川県	-	-	-
島根県	-	-	-
佐賀県	-	-	-
宮崎県	-	-	-

<u>大学生等</u>	令和2年度前期 第12期		
	応募人数	採用人数	留学総月数
北海道	-	-	-
岩手県	-	-	-
福井県	-	-	-
静岡県	-	-	-
長崎県	-	-	-
山形県	-	-	-
太田市	-	-	-
福山市	-	-	-
計	11名	<b>7名</b>	<b>16月</b>

令和2年度後期(第13期)は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、採用中止となりました。



# 学生選考

## <応募人数・採用結果（第14期）>



大学生等	令和3年度 第14期		
	地域名	応募人数	採用人数 ※
栃木県	3名	2名	10月
熊本県	2名	2名	6月
大分県	4名	3名	4月
沖縄県	12名	8名	24月
石川県	5名	5名	15月
奈良市	2名	1名	4月
香川県	2名	2名	6月
島根県	0名	0名	-
佐賀県	-	-	-
宮崎県	-	-	-
北海道	2名	2名	7月
静岡県	0名	0名	-
長崎県	-	-	-
山形県	6名	5名	8月
太田市	0名	0名	-
福山市	3名	3名	12月
計	41名	33名	96月

※採用後の辞退者含む

栃木県、沖縄県、福山市は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣中止となりました。



# 学生選考

＜高校生等枠 応募人数・採用結果（第9～12期）

※採用後の辞退者含む



高校生等	平成30年度後期 第9期			平成31年度前期 第10期			平成31年度後期 第11期			令和2年度前期 第12期		
	地域名	応募 人数	採用 人数	留学 総月数	応募 人数	採用 人数	留学 総月数	応募 人数	採用 人数	留学 総月数	応募 人数	採用 人数
いわき市	-	-	-	2名	2名	3月	-	-	-	0名	0名	-
宮崎県	8名	3名	3月	-	-	-	5名	3名	4月	-	-	-
長崎県	1名	0名	0月	0名	0名	-	0名	0名	-	-	-	-
計	9名	3名	3月	2名	2名	3月	5名	3名	4月	0名	0名	0月

令和2年度後期(第13期)は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により採用中止となりました。





## E 独自プログラムの運営

各地域において、地域の活性化に資すると思われる独自のテーマを設定し、テーマに則したプログラムを設計  
海外留学のみならず、地域企業等でのインターンシップを組み合わせることにより、派遣留学生在が地域に愛着、地域への「縁と恩」を感じるような独自の内容



壮行会 (北海道)



事後報告会(奈良市)～集合写真～

地域の多くの産官学の方々が留学の成果や派遣留学生在の成長を楽しみにしている





# 地域イベント（採択状授与式）



産学官が有機的に連携して、地域に定着するグローバル人材を育成しようとする事業の開始を、地域内に広く知らせるためのキックオフとなるイベント

## <例:広島県福山市>

### 【出席者】

(産：支援企業) 商工会議所、支援企業 等  
(学：教育機関) 福山市内高等教育機関  
(官：自治体) 福山市 関係者等

### 【次第】

- ・福山市長挨拶
- ・事業概要説明
- ・採択状授与
- ・文部科学省より挨拶
- ・議事（協議会規約等） 等

※採択状授与式後、留学に興味のある学生等を対象に以下のイベントを開催。

全国コースのトビタテ生、高等教育機関、県庁、支援企業より国際体験事例が発表された後、地域活性化など地域課題解決に向けた新しいアイデアを共に討議

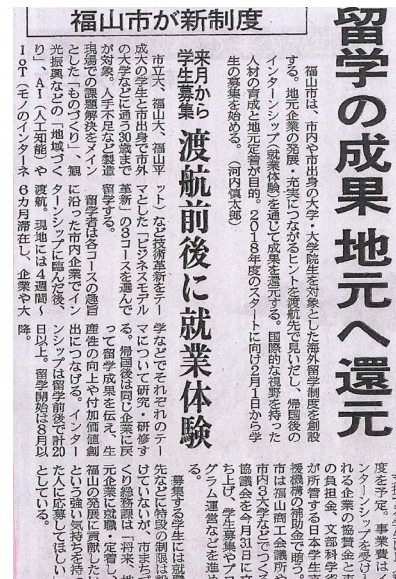
※地域新聞、夕方のニュース番組にて紹介



▲採択状授与



▲読売新聞



▲山陽新聞



▲毎日新聞



# 地域イベント（壮行会・報告会）



## 壮行会

地域の産学官の方々が  
留学へ向かう派遣留学生を  
激励する会

派遣留学生は、壮行会に出席された地域の産学官の方々に自分の留学計画や目標について語り、多くの人の期待を胸に留学をスタートする



壮行会@石川県

## 報告会

留学から戻ってきた派遣留学生が  
地域の産学官の方々に向けて  
留学成果の報告を行う会

派遣留学生は自分の留学内容や成果について出席された地域の多くの産官学の方々に報告を行う。地域の方々は派遣留学生の留学の成果や発見、成長を楽しみにしている。



出席者集合@北海道





# 採択地域間の情報共有



採択地域間で情報共有を積極的に行い、  
地域事業の発展・プログラムの質の向上を継続的に図る場を設置

## 地域コーディネータープログラム研究会

### 【参加者】

採択地域の地域コーディネーター、自治体担当者等

### 【目的】

各地域のプログラムの内容の質を高いものにするため、情報交換や討議等を行う ※年1・2回開催



▲全体会



▲事例報告（島根）



▲事例報告（宮崎）



▲トビタテ生との意見交換

地方開催第二回では、産学官の関係が強固でコーディネーターが中心となった、  
きめ細かい学生のフォロー体制が構築されている「島根県地域協議会」で実施。



▲参加者全員での記念写真



▲グループワーク



▲各グループの発表



▲視察



## 2. 各地域事業のご紹介



# 地域事業実施地域 (令和4年6月現在)



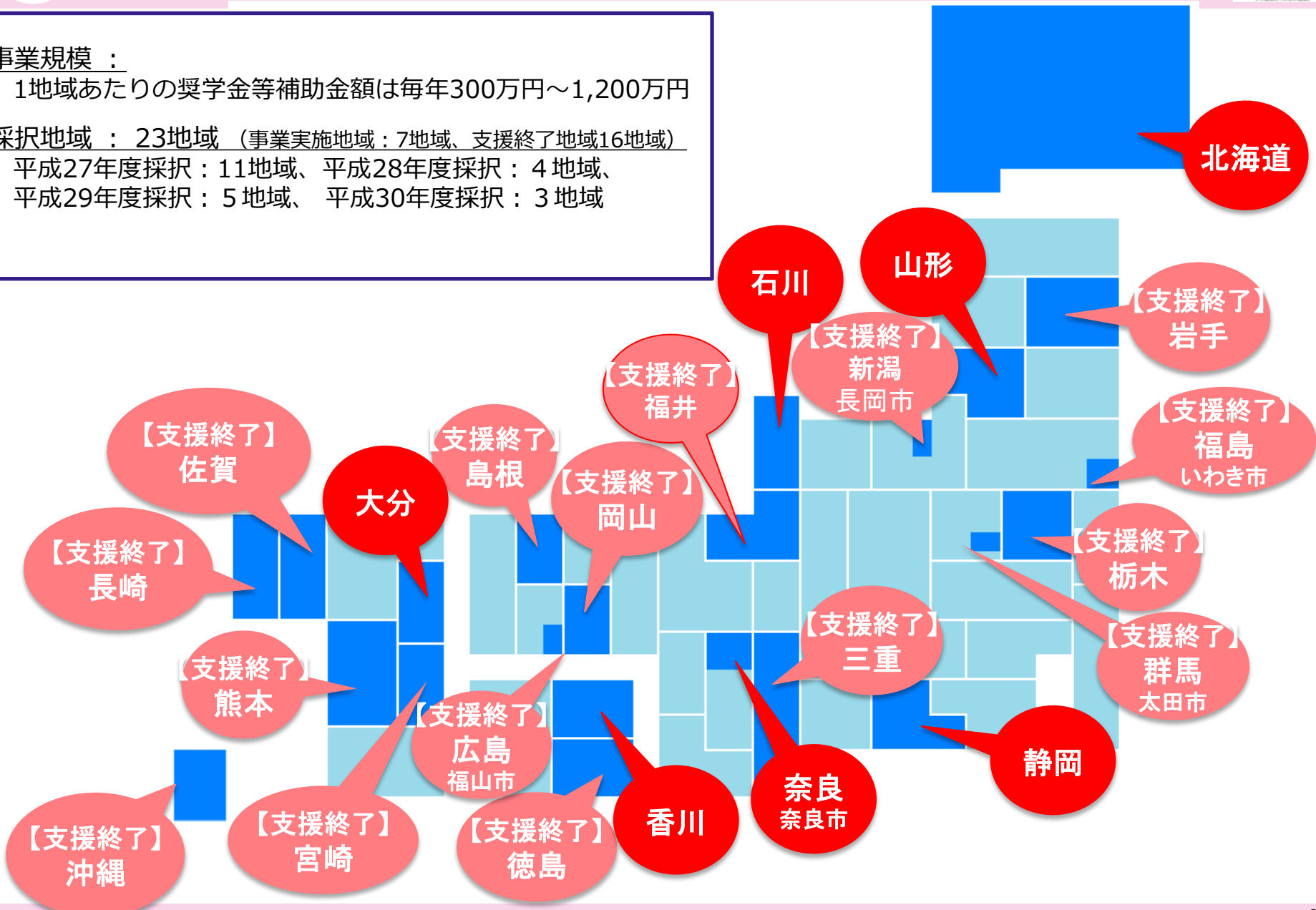
## 事業規模 :

1地域あたりの奨学金等補助金額は毎年300万円~1,200万円

## 採択地域 : 23地域 (事業実施地域: 7地域、支援終了地域16地域)

平成27年度採択: 11地域、平成28年度採択: 4地域、

平成29年度採択: 5地域、平成30年度採択: 3地域





# 令和4年度 各地域事業のご紹介

## (平成27年度採択・事業実施地域①)



地域名	地域事業の名称／プログラムの概要	地域外大学等に在籍する学生の応募可否
石川県	<p><b>いしかわの明日の人材を育成する実践的留学プログラム支援事業</b></p> <p>グローバル展開するモノづくり企業が集積するとともに、日本が世界に誇る伝統産業・伝統文化やそれらと関連する観光産業が盛んな地である石川県の明日を担う、グローバルな人材を育成するために、石川県の地域活性化に寄与しようとする意欲ある学生の実践的な留学を支援</p>	×
奈良県 奈良市	<p><b>「奈良を『開く』人材」グローバル人材育成プロジェクト</b></p> <p>「まほろば資源開発コース」「観光マネジメントコース」「異文化マーケティングコース」から1つを選び、インターンシップと留学を通じて、新たなアイデアによる観光資源の開発、経営が成り立つ観光マネジメント、海外に直接働きかける方法や仕掛けづくりなどについて、グローバルな視点で考え行動できる能力を身につけさせることを目的とし、奈良を世界に「開く」こと、奈良市の将来に情熱と愛情を注ぐことのできる学生を支援</p>	○ (奈良市に在住し、 近隣都市の大学に 通学する学部生)



# 令和4年度 各地域事業のご紹介

## (平成27年度採択・事業実施地域②)



地域名	地域事業の名称／プログラムの概要	県外大学等に 在籍する学生の 応募可否
香川県	<p><b>香川地域活性化グローバル人材育成プログラム</b></p> <p>香川県の産官学が一体となって目指している、県の各種産業等の発展に欠かせない人材を育成することを目的とし、香川県の成長産業、なかでも、「香川県産業成長戦略」であげられている分野(食品・バイオ関連分野、健康関連分野、ものづくり分野、環境関連分野、農産物づくり分野、観光関連分野)に関わるインターンシップと留学経験を元に、グローバル・スペシャリストとして地域経済の発展・国際化に貢献したい学生を支援</p>	×
大分県	<p><b>大分県地域グローバル人材育成・定着事業</b></p> <p>グローバルな視点で県内企業の海外展開などを担う将来の地域グローバル人材を募集 ものづくり、林業(建築・デザイン)、観光・サービス関連、ラグビーレガシー等、地域課題を解決するテーマで留学を計画し、地域に貢献したい意欲ある学生を支援</p>	○ (大分県出身の 学生)



# 令和4年度 各地域事業のご紹介

## (平成29年度採択・事業実施地域)



地域名	地域事業の名称／プログラムの概要	県外大学等に 在籍する学生の 応募可否
北海道	<p><b>北海道海外留学支援事業～トビタテ！道産子海外留学応援プログラム～</b>            北海道の特徴や優位性を活かせる、基幹産業である農林水産業、地域資源を活かした観光、食・ものづくり、環境・エネルギーの4分野とし、グローバルな視点を持ち海外企業との交渉や海外進出など販路拡大に取り組む人材等を目指す学生を支援</p>	×
静岡県	<p><b>ふじのくにグローバル人材育成事業</b>            「静岡と世界を繋ぐ」をテーマとして学生自身が課題を設定し、県内インターンシップや海外での実践的活動をもとに自ら解決策を模索する。以下の3つのコースを設定し、幅広い分野での留学を支援。            ①ものづくり・地域産業コース            ②観光交流・地域活性化コース            ③静岡と世界を繋ぐプロモートコース</p>	×





# 令和4年度 各地域事業のご紹介

## (平成30年度採択・事業実施地域)



地域名	地域事業の名称／プログラムの概要	県外大学等に 在籍する学生の 応募可否
山形県	<p><b>やまがたの未来を切り開くグローバル人材育成プログラム</b></p> <p>アジア地域を中心にしたグローバル化を通して県内及び東北地方での産業・農業などを発展させるローカルな問題意識を持った「高度グローバル人材」を育成していく。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①食・農業海外展開コース</li><li>②ものづくり海外展開コース</li><li>③地域国際化コース</li></ul>	×



# 採択された23地域のご紹介



平成27年度採択地域及び地域事業の名称(11地域)			
福島県 いわき市	トビタテ！福島浜通り再生ストーリーの主役たち	栃木県	とちぎグローバル人材育成プログラム(上級コース)
石川県	いしかわの明日の人材を育成する実践的留学プログラム支援事業	三重県	航空宇宙産業分野の企業へ就職をめざす人材の留学支援
奈良県 奈良市	「奈良を開く」人材グローバル人材育成プロジェクト	岡山県	おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業
徳島県	徳島県地域グローバル人材育成事業	香川県	香川地域活性化グローバル人材育成プログラム
熊本県	「熊本と世界をつなぐ」グローバル人材育成事業	大分県	大分県地域グローバル人材育成・定着事業
沖縄県	沖縄からアジアへトビタテ！留学JAPANプロジェクト	-	-
平成28年度採択地域及び地域事業の名称(4地域)			
新潟県 長岡市	「米百俵の精神を受け継ぐ」長岡グローバル人材育成事業	島根県	島根県グローバル人材育成支援事業
佐賀県	世界とともに発展するSAGANグローバル人材育成事業	宮崎県	みやざきグローバル人材育成事業
平成29年度採択地域及び地域事業の名称(5地域)			
北海道	北海道海外留学支援事業 ～トビタテ！道産子海外留学応援プログラム～	岩手県	いわて協創グローバル人材育成プログラム
福井県	福井県地域グローバル人材育成事業	静岡県	ふじのくにグローバル人材育成事業
長崎県	長崎ブレイクスルー (長崎グローバル人材育成)プロジェクト	-	-
平成30年度採択地域及び地域事業の名称(3地域)			
山形県	やまがたの未来を切り開くグローバル人材育成プログラム	群馬県 太田市	新田山(にいたやま)グローバル人材育成事業
広島県 福山市	トビタテ学種！花開学種！ふくやまグローバル人材育成事業	-	-



# 平成27年度採択・事業実施地域

石川県  
奈良県奈良市

香川県  
大分県



# 石川県（公益社団法人 大学コンソーシアム石川）



石川県は、グローバル展開するモノづくり企業が集積するとともに、日本が世界に誇る伝統産業・伝統文化やそれらと関連する観光産業が盛んな地である。特に東アジア・東南アジア地域とのつながりは強く、県が戦略的に事務所を設置して、モノづくり企業の海外進出や観光客誘致をサポートしている。また、中には、さらなる広がりをもってグローバル展開をめざす企業も登場してきている。石川県の地域活性化の鍵は、そうした地域のグローバル産業等を担うグローバル人材（グローバルな視野を持ちながらローカルな課題に主体的に取り組むことのできる人材）の育成にある。

本事業は、グローバル人材として成長し、石川県の地域活性化に寄与しようとする、意欲ある学生の実践的な留学を支援し彼ら/彼女らの多様な能力を涵養して、地域企業等への就職につなげていこうとするものである。

## 地域協議会基礎データ

### 【地域協議会代表者】

会長：和田隆志（金沢大学長）

### 【運営事務局】

公益社団法人 大学コンソーシアム石川・事務局

### 【地域協議会の構成員及び産学官の役割】

大学コンソーシアム石川は、石川県内の全ての高等教育機関（21機関）、石川県内の地方公共団体（1県19市町）、および経済団体等の関係団体（12団体）で構成されるコンソーシアムである。大学コンソーシアム石川は、教育交流・情報発信・地域連携等を行い、高等教育の充実・発展及び地域社会の学術・文化・産業の発展に寄与することを目的に、平成18年4月に設立された。平成22年7月からは一般社団法人として、平成28年4月からは公益社団法人として活動している。本事業は、本コンソーシアムの「産学官連携人材育成専門部会」が運営を担当する。部会は、高等教育機関から19名、地方公共団体より3名、経済団体から4名の計26名で構成する。

## 【地域協議会による事業運営】

### ◆「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」

本プログラムは、グローバルな視野でローカルな課題に取り組むことのできる「課題解決型グローバル人材」を育成して地域に定着させるために、大学間連携共同教育推進事業の補助金を受けて、平成26年に大学コンソーシアム石川に創設された。

本地域人材コースも本プログラムの一部として運営され、採用された学生は本プログラムの一部に事前研修として参加する。



### シティカレッジ「石川県の市町」

県内市町の首長や幹部が現場の問題を軸に講義をする



### 「石川で学ぶ未来可能性（地域創生概論）」

石川の魅力を深く理解する為の e-Learning教材





# 地域プログラム内容（石川県）



## ◆地域プログラム概要

- (1) 「ものづくり×アジア」コース 石川県のものづくり企業のさらなる東アジア・東南アジア進出に必要なことは何かを、現地に行って実践的に学び考えていこうとする留学企画を募集
- (2) 「観光・地域文化×アジア」コース 石川県の観光産業および伝統産業・伝統文化の発展のために、東アジア・東南アジアとの関係を、現地に行って実践的に学び考えていこうとする留学企画を募集
- (3) 「グローバル展開×地域課題」コース 地球規模の視野から考えていくことのできる石川県の地域的課題を自ら見つけ、現地体験をもとに考えていこうとする留学企画を募集

## ◆事例：US-Japan Forum シリコンバレー・アントレプレナー研修～次世代型システムキッチン～ 金沢大学 伊藤 堯

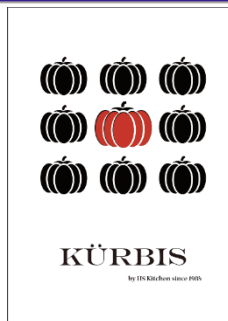
### インターンシップ（事後）

#### 【受入企業】継手意匠店

関係性のデザインを行う建築事務所を営む若手起業家のもとで、建築現場アシスタント及び起業プランのテストマーケティングを実施した。

前半は、様々な打ち合わせに同行することで、小規模事業ならではの営業スタイルや、どのようにビジネスが成り立つのかを学んだ。お客様の要望の多様さに驚いた。

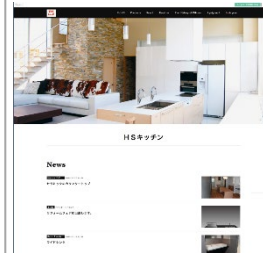
後半には実際に家業の商品のPRデザインと展示会の出展を行った。ゼロからの挑戦だったが、フィードバックを何度ももらい、納得のいくポスターやパンフレットが完成した。展示会では目標としていた商談2件を獲得することができ、手応えを感じることができた。他社の出展をみたりお客様の反応から改善点も発見した。



ポスター（上）  
パンフレット（下）

### 海外留学

家業がキッチンメーカーであるという強みを活かし、他社と差別化したキッチンを作り、日本全国で勝負できる会社をつくることを目指す。そこで起業最先端であるシリコンバレーにてアントレプレナー研修留学を行った。将来は、音声認識による調理補助等を行える次世代型キッチンを作りたいと考えているが、まずは家業の経営改善を研修を通して行った。新ホームページの作成、検索SEO対策、キッチン3Dモデル掲載、Instagram開設、ロゴ製作等を実施した。しかし何よりの学びは、「起業家とは全てのことに興味を持ち、自ら学び、挑戦していく人である」そして、自分にもできるという気持ちを持てたことだ。



自力で家業のHPをリニューアルさせた



アメリカの店舗には変わったデザインの水回り品も

### 地域コーディネーターによる支援

事後インターンシップについて相談対応した。建築事務所の受入を希望していたため、その中でも留学目標に沿う内容である起業家精神育成プログラムを紹介した。エントリー、マッチングなどの支援を行い、プログラムを彼の留学計画に沿った内容になるようにサポートした。

機械的に単なるマッチングだけをするのではなく、現在感じている違和感や本当にやりたいこと、普段は他人に話さないような将来について赤裸々に語るような時間をもち、しっかりと対話を行った。コーディネーター自身が起業家でもあるため、起業に向けてのアドバイスなども受入企業からだけでなく、コーディネーターからも行うことで多面的な学びの場となった。



受入企業とマッチング





# 留学後の活動例（石川県）



## 【留学報告会における支援団体との交流】

## 【学生によるトビタテ事業の紹介】

大学コンソーシアム石川は令和3年3月4日(木)に金沢ニューグランドホテルにて派遣留学生成果報告会をオンラインと対面のハイブリッドで実施した。

石川県の地域人材コース第6期生1人、第9期生1人、第10期生3人、第11期生3人の計8人がオンデマンド、オンライン、対面で発表を行い、留学で学んだことや得られた経験、そして石川県への貢献について語った。

協賛企業関係者、県関係者及び大学関係者に加えて渡航待機中の第12期生などの計61名が参加した。



### - 募集説明会 -

トビタテ！留学JAPANの特徴を石川県内に広く分かり易く伝える事を目的として、高等教育機関を訪問し募集説明会を開催。引き続き広報活動を広げ、石川県内の応募者の促進や留学の支援を行っていく。

### - 第6回プログラム研究会-

石川県で開催したプログラム研究会に、トビタテ留学生5名が参加。グループに別れて事例発表と意見交換をした。また既に協賛企業に就職したOB生1名が事例報告した。

### - グローバルトークセッション -

グローバルな人材育成のためのセミナー「グローバルトークセッション」にてトビタテ留学生2名による留学報告にて広報活動を行った。



成果報告会の様子



社行会の様子



社行会参加協賛企業の方と記念撮影



10期派遣留學生を囲んで

### - 地域課題ゼミナール支援事業報告会 -

県内高等教育機関の専門性と学生の若いパワーを地域課題の解決及び活性化に結び付け、県内高等教育機関と地域の協働の推進を目的とした地域課題ゼミナール支援事業の成果報告会で、トビタテ留学生による留学報告やコミュニティについて説明をした。





# 地域の声 (石川県)



## 【三谷産業株式会社】 人事本部 人材開発部 山本 新

1928年、当社は創業の地「金沢」で石炭の卸売りから事業が始まりました。

現在は空調設備工事、情報システム、樹脂エレクトロニクス、化学品、住宅設備機器、エネルギーの6事業領域で構成されている会社です。1994年にベトナムに進出して以来、主力事業それぞれが、ベトナムに製造・研究・開発拠点を持っています。例えば、樹脂・エレクトロニクス関連ではプラスチック成型による自動車部品の製造を、空調設備および、住宅設備機器関連ではCAD図面制作や設計・積算業務を行っています。

ベトナムは三谷産業グループのメーカーとしての側面を担う、切っても切れない重要なパートナーなのです。今回、トビタテ！留学JAPANのプログラムにおいてはACSD社にて活動してもらいました。3DCADを利用した設計業務や図面作成補助なども経験してもらいました。

グローバル人材として求められるのは、専門的なスキルも必要ではありますが、現地環境や風土を理解し、自身の中にあるギャップをどのように捉えるか、課題解決のためにどれだけ尽力できるかという人間力にあると考えています。このプログラムが留学を希望する学生にとって、成長につながるものであると期待しています。



ACSD社：ホーチミン本社

## 【石川工業高等専門学校】 吉田 大起

国内のグローバル化の機運が高まっている中、2年前の研修旅行の経験や、地元企業が海外進出している事例を知り、学校で専攻している建築のグローバル化を学生の時からよりリアルに経験したいと思い、本プログラムに応募しました。本留学では、石川県金沢市に本社を置く三谷産業株式会社のグループ会社で、ベトナム／ホーチミンに設立された Aureole Construction Software Development Inc.へ2ヶ月間のインターンシップを行いました。

現地では、図面の作成補助やBIM等の建築技術の経験に加え、建築教育資料の作成や社員の日本語研修といった教育の立場での業務を任される中で、グローバル化による日本と世界の近さを肌で感じ、また品質確保のための企業努力を目で見ることができました。新しい環境で何かを得るためには受け身になるのではなく、自ら関わっていきこうとする姿勢が大切であり、留学を通して「異文化や他者の意見を理解できる柔軟性、新しい環境に主体的に関わっていく積極性」を身に付けることができ、大きな成長を実感しました。留学で得た力をばねに、現在は地元の学生団体に所属し、地域課題を解決するために長期的なプロジェクトを遂行しており、プロジェクトの成功をもって地域貢献できるように活動していきたいと思っております。そして、これらの活動と留学経験という貴重なバックグラウンドを生かし、石川県の代表として日本にとどまらず世界的に活躍できる人材になるよう成長していきたいです。



ACSD者の方と

### 【学生データ】

渡航国：米国8名／カナダ2名  
／ドイツ5名／フィンランド2名  
／ベルギー1名／アイルランド1名  
／イギリス2名／デンマーク1名  
／フランス1名／イタリア1名  
／タイ3名／オーストラリア6名  
／タイ→マレーシア1名  
／台湾1名／中国1名  
／大韓民国1名／フィリピン→オーストラリア1名  
／ベトナム3名  
／マレーシア1名  
／オース1名  
／シンガポール1名

期間：最短 1か月  
最長 1年  
(8期より6か月)  
平均 4.6か月

### 所属大学等：

金沢大学	21名
石川県立大学	10名
金沢工業大学	1名
金沢星稜大学	5名
石川高専	7名

### 主な留学計画：

- ・石川県の医療に貢献！～世界を牽引する米国がんセンターでの経験を踏まえ臨床検査と研究を繋ぐ医療人を目指す
- ・石川県の「特別支援教育」が「特別」でなく「当たり前」になる日を目指して
- ・シンガポールにおける石川の知名度アップとインバウンドの増加に関する取り組み





# 地域への定着（石川県）



## 【ヤツメウナギから学んだ人と自然のつながり】

### 第5期生・荒川 裕亮

留学テーマ：「希少生物ヤツメウナギの保全策と文化を学ぶ留学計画」

留 学 先：ヤカマ部族水産試験場  
(水産学、生態学、希少生物の保全)

留学期間：平成28年11月～平成29年4月

就 職 先：石川県庁 のと海洋ふれあいセンター

現在のプロジェクト：浅海域・河川の生態調査、普及活動



カリフォルニアの海岸にて先住民族の方と

### 本人の声

私は石川県立大学で学部4年時に、能登半島で伝統的な水産資源として利用されているカワヤツメと出会いました。しかし、その個体数は近年大きく減少していることを知りました。そこでカワヤツメという能登の資源を守るため、ヤツメウナギ類の保全研究が先進的に進められているアメリカ合衆国の水産試験場に留学をしました。

私が留学で得た成果は「つながり」です。ヤツメウナギは海や川を行き来する生き物で、海と川の「つながり」や多様な環境がなければその生活史を全うすることができません。アメリカでは、海や川での移動、環境や他の生物との関係性といったヤツメウナギを中心とした「つながり」を明らかにするため、多様な分野の研究者達が研究に取り組んでいました。私も留学中に、他のどの魚がヤツメウナギの幼生（子ども）を捕食しているのかという研究を行いました。その成果は米国の研究者達と一緒に論文として発表し、一つの「つながり」を明らかにしました。

またアメリカではヤツメウナギは先住民族の方にとって大切な生き物であり、彼らの文化を守るためにもヤツメウナギの研究は重要です。留学中、私は先住民族の方とお話する機会がありました。その時の「私たちは自然や生き物のことを知っているから、耳を傾けてほしい」という言葉が印象に残っています。地域の自然やそこに住む生き物のことは、地域の方が一番知っています。私は留学後、日本中の漁師の方々にカワヤツメに関する聞き取り調査を行いました。昔から営まれるその漁法は、地域の自然や生物の生態に合わせて発達しており、その知識からカワヤツメに関する新しい知見を得ることができました。しかし、カワヤツメの資源量減少に伴い漁業は衰退しつつあり、カワヤツメと人間との「つながり」は薄れつつあります。

私は現在、のと海洋ふれあいセンターで能登半島の磯など浅い海域に生息する生物の調査研究に従事しています。能登半島は里山里海と言われるように、山と海が近く、生物と人間の「つながり」つまり多様な文化が存在しています。これまで私は川での研究をしてきましたが、これからは海や山での研究経験を積みながら、自然の中の「つながり」を守ることができる人材になりたいと思っています。





# 奈良市（奈良市留学支援コンソーシアム）



## 「奈良を『開く』人材」グローバル人材育成プロジェクト

奈良市では、旧来型観光産業の価値観にとらわれない「奈良を『開く』人材」を輩出し、新しい観光産業都市に向けたグローバルな視点で物事を考える能力を備えながら、奈良市（ローカル）の発展に情熱と愛情を注ぐことのできる人材を育成することを目指す。

### 地域協議会基礎データ

#### 【地域協議会代表者】（令和4年3月時点）

（会長）奈良トヨタ株式会社 代表取締役社長 菊池 攻  
（副会長）奈良学園大学学長 口 毅一郎、奈良市長 仲川 げん

#### 【運営事務局】

奈良市留学支援コンソーシアム（NaSCOS）



#### 【地域協議会の構成員及び産学官の役割】

（産）「社会貢献から経営戦略へのシフト」

広報や人材確保という観点に留まらず、学生と共に事業を興す、組織変革に活かすなど、経営戦略的なメリットを見いだす。

（学）「地域との連携力強化と留学およびインターンシップの実績作り」

地域インターンシップの実績を作り、効果的な学習プログラムを導入する。

（官）「地域を活性化する協働・協育の場の形成」

産業の活性化やまちづくりなど、多面的な成果を生み出す交流と連携の場を形成する。

【コア企業・団体】… 留学経費支援（寄附金）・留学生選考・インターンシップ ※企業名は、掲載許可を得ている企業のみとなっております。

奈良トヨタ  
栄林建設 近鉄百貨店 奈良交通 南都銀行 藤井書房 富士通(奈良支店) 北山医院 奈良市薬剤師会

【市内7大学】… 留学生募集・留学（経費以外）支援・留学生選考

奈良教育大学 奈良女子大学 奈良県立大学 帝塚山大学 奈良大学 奈良学園大学 近畿大学(農学部)

【奈良市】… 留学経費支援・事務局機能 (敬称略)

【サポーター企業・団体】… 留学経費支援（寄附金）・留学生選考 ※企業名は、掲載許可を得ている企業のみとなっております。

奈良西ライオンズクラブ、小山、奈良自動車学校、アスカ美容、シバタ製針、トヨタレンタリース奈良、奈良県経済倶楽部、ホテルサンルート奈良、明新社、ロイヤルツーリスト、川崎法律事務所、奈良県自動車販売店協会（自販連）、八宝

あいおいニッセイ同和損害保険（奈良支店）、あどおーみ、北川ビル、共同精版印刷、三和住宅、JTB（奈良支店）、損害保険ジャパン日本興亜（奈良支店）、東京海上日動火災保険（奈良支店）、奈良県自動車整備工業協同組合、奈良ロイヤルホテル、日本自動車連盟（JAF）奈良支部、野崎商店、むさし野 (敬称略)

【地域コーディネーター】… 事業支援

奈良教育大学学長 加藤久雄 (敬称略)

【事務局】… 事業支援

奈良市教育委員会 教育部 地域教育課

令和4年3月時点

#### 【地域協議会による事業運営】

##### ◆第二次選考を兼ねた合宿研修◆

選考を兼ねた合宿研修を世界遺産である薬師寺で行っている。支援企業からは、選考の審査員としてだけではなく、企業経営者の方を複数名を招き、「奈良で事業を展開する経営者の思い」をテーマにパネルディスカッションを実施した。選考だけでなく、研修の場として、改めて奈良を知り、奈良についての教養を深めることを目的としている。また、応募学生は、僧侶のご講話や朝のおつとめ等、普段できない体験や学びを通じ、自分自身を見つめ直すとともに、ライバルではありながらも、お互い協力し合いながら、与えられた課題に全力で取り組み、個人審査やグループ審査に臨んだ。学生同士が称えあふ関係性ができており、採用・不採用に関わらず、応募学生同士のコミュニティも継続して構築されている。

また、蓄積したデータ共有が可能なクラウドサービスを活用し、留学先での現地の様子や実践活動を随時共有するだけでなく、学生の縦のつながりを生み出すために活用している。

派遣留学生には「奈良市観光大使」として委嘱し、国内や留学先でも奈良市をPRする役目を担ってもらう。また、学生の活動の様子や進捗状況をお知らせするため、奈良市留学支援コンソーシアムだよりを発行し（令和元年8月 第15号）支援企業・団体に配付している。



世界遺産「薬師寺」での選考を兼ねた合宿研修



奈良で企業を営む方々を招いてのパネルディスカッション



壮行会の様子：コンソーシアムメンバーと学生



奈良市観光大使として委嘱



# 地域プログラム内容（奈良市）



## ◆地域プログラム概要

### まほろば資源開発コース

「奈良らしい自然と環境を活かした資源開発」という地域の課題に応えることを目標とするコース。

### 観光マネジメントコース

「急増する外国人観光客への対応力向上」という観光事業の課題に応えることを目標とするコース。

### 異文化マーケティングコース

「インバウンド観光の実現」「奈良の広報力、魅力訴求力の向上」という地域の要望に応えることを目標とするコース。

## ◆地域課題をチームで共有し解決策を提案する【奈良を「開く」起業プログラム】◆

### インターンシップ（地域課題解決のための仮想会社）

【受入企業】奈良南観光案内所、有限会社くるみの木 等  
【内容】派遣留学生が個別に活動をするだけでなく、お互いの留学計画を理解しあいながら、ブラッシュアップし、チームとして支えあうことを重要視している。その中で仮想会社を立ち上げるという目標のもと、奈良市の課題解決の事業化に取り組み、企業・団体へのヒアリングを兼ねた活動を実施した。

「奈良の朝」の価値を高めるため、朝の観光×伝統×ヘルスツーリズムを合体させた『茶粥』ランを事業案として作成した。奈良町の南の玄関口である観光案内所に併設し、朝食を提供している施設を運営する有限会社くるみの木にインターンシップし、事業案のブラッシュアップや、実施のための可能性を模索した。

また、観光客向けに近隣のおすすめスポットのマップ作成や、奈良の伝統的な「お水取り」に英語ボランティアで参加したり、行事の紹介ブースを作成する等、地域の観光資源を生かした地域活性のための活動に取り組んだ。



### 海外留学



【渡航国】ガーナ（アクラ）

【留学期間】平成28年6月1日～11月30日

【内容】現地旅行会社でインターンシップ。

◆ガーナ⇔日本の双方向を紹介、発信する活動(若者向けコンテンツ作成、ツアー企画・ガイドブック作成、イベントで日本文化や奈良について紹介)

◆第15回を数える「ガーナJapanツアー（ガーナの高校生を含む30名程度が参加するためのツアー）」に奈良を訪問する旅程を組み入れ、奈良観光を実現した。

◆ガーナ各地のエコツーリズムを中心とした持続可能な観光を企画し、現地の自然やガーナの人々が持つ文化を活用した観光は、奈良にも当てはめられると考えている。



ガーナの高校生が奈良訪問

### 地域コーディネーターによる支援

- ・研修プログラムに関するアドバイスや大学等の調整を行う。
- ・事前オリエンテーションで、留学で何を学ぶのか。学びの原点を改めて認識をさせるため、「リベラル・アーツとESD（※）の学び」の講義を実施する。

※ESD（Education for Sustainable Development）：ユネスコが主導する「持続可能な開発のための教育」



オリエンテーションの様子



# 留学後の活動例①（奈良市）



## 「つなげる。つながる。」地域の活性化を生み出すかに

### 【地域密着型の広報】

地元のFM放送局(ならどっと FM78.4MHz)で自らがトビタテ！留学JAPAN『地域人材コース』の事業で経験した選考での話や、留学中のホストファミリーとの様子、プログラムの中で経験したことについて紹介を行った。

また、市の広報紙として15万部を発行している「奈良しみんだより」で、学生が留学経験や地域と密着した経験ができる『地域人材コース』の魅力をつづった内容を掲載し、情報発信と派遣留学生の募集を行った。



ならどっとFM Facebookより

### 【トビタテの経験を地域の様々な機会でのプレゼンテーション】

→教育長講話のための聞き取りをしている様子



↑奈良市国際交流協会 総会での様子



→校長会で発表している様子

### 【支援企業・団体との交流(成果報告会)】

平成31年3月に開催した留学成果報告会では、学生自身が受付から司会進行までつとめ、個人の留学計画の報告や取り組んだ地域課題解決のための案について発表を行った。

5名の派遣留学生が、ポスターセッション形式で留学体験を語り、支援・企業の方々からも様々な質問が投げかけられ、学生にとって新たな気づきを得る機会となった。



チーム発表



ポスターセッション形式による個人発表

第4期生6名は、平成29年3月の留学成果報告会をもってプログラムは終了したが、4月に開催された奈良市国際交流協会(※1)総会や、7月の校長会(※2)での教育長講話の中で、トビタテ地域人材コースのプログラムを通じて経験したこと、感じたことについてプレゼンテーションを行った。トビタテ！留学JAPANの地域人材コースの紹介だけでなく、地域の人々にこれからの世代に伝えていきたいことや思いを伝えることで、地域貢献の一助となっている。

※1:国際交流の推進を図ることを目的として、奈良市と友好・姉妹都市等との市民相互の友好交流を密接にするための各種事業を行う団体。

※2:奈良市立小中学校の校長が集まり情報共有や研修等を行う定例会。





# 留学後の活動例②（奈良市）



## 「つなげる。つながる。」地域の活性化を生み出すかに

### 【母校・地域とつながる】



若草中学校でのプレゼン練習の様子

### 【留学先・期間】

アメリカ（カリフォルニア・ハワイ） 4ヵ月・5ヵ月

第4期生の西井孝輔くん、佐藤可奈子さんは母校の若草中学校と留学前から交流を深め、留学後に体験報告会を行った。2人の母校である奈良市立若草中学校の世界遺産学習の様子と奈良の魅力を留学先のアメリカで紹介することを想定し、英語でプレゼンテーションの練習を実施した。

若草中学校で発表し、英語科の先生や校長先生、地域の方々にアドバイスを受け、ブラッシュアップを行った。

「このような場を設けていただいたことに感謝して、世界遺産に囲まれた素晴らしい立地にある若草中学校をアメリカでもしっかり伝えられるよう頑張っ来ようとさらに気が引き締められました。留学から帰国したら、母校への恩返しとなるよう、中学生に留学の体験談など話したい。」と学生から報告があった。

### 【出身中学校で体験報告会を開催】



若草中学校での体験報告会の様子

留学前から関わっていただいていた地域教育協議会が主催となり、地域の中学生へグローバルな取組に対する意識の涵養を図る場

として、平成29年10月26日(木)14時30分～ 若草中学校体育館  
報告会を行った。

中学校の全校生徒、保護者、地域の方々等、305人が体育館に集まり、トビタテの留学中のエピソードや海外の人から見た日本の文化への驚きや、外国人の奈良に対する印象などをクイズ形式で生徒とやりとりしたり、現地の自然の様子や海外で大学に通う学生からのメッセージ動画を紹介したりする等、工夫を凝らしたプレゼンを行い、多くの生徒が話に引き込まれていた。また、「若草中学校は、世界的にみても、いかに恵まれた環境にあって、そこで学びあえていることは、決して当たり前なことではないということを感じてください。」「生まれ育った「奈良」を大切にしてほしい。」と二人から中学生へメッセージもあった。

今回の報告会も地域の方や中学校の先生に協力をいただきながら、トビタテ生が主体となって進めている。今後も、地域と協働しながら、トビタテ生が次世代の若者に対して、留学の機運の醸成のための活動も継続して行う予定である。



# 留学後の活動例③（奈良市）



## 「つなげる。つながる。」地域の活性化を生み出すかに

### 【出身中学校で体験報告会を開催】



春日中学校での体験報告会の様子

平成29年11月10日には、第4期生の中村愛理さんが母校の春日中学校で、校長先生との対談形式で全校生徒を対象に留学体験の報告会を行った。今回の報告会は、全校生徒約500人に、榎本校長と対談形式で「教室と社会をつなぐ」をテーマにキャリア教育の一貫として開催された。

中学校時代の部活の話や、中学2年生での職場体験で将来進む道を考えるきっかけになったこと、また、高校でのオーストラリアの留学体験やトビタテ留学JAPANの留学体験により、「日本や、自分の生まれ育った奈良のすばらしさ」に改めて気づいたということが語られた。

また、「今、夢を持っている人はそれを目標に、まだない人でも、可能性は無限大にあるということを知ってほしい。」「学べるということは世界中で見ると当たり前ではない国もある。学校で学んでいることは、今は気づかないかもしれないけど、将来きっとどこかで役に立つ。それを信じて学びを深めてほしい。」と生徒たちへメッセージが送られた。

### 【その他様々な機会での留学の報告会を実施】



左京小学校での体験報告会の様子

平成29年11月16日には、第4期生の中村愛理さんが奈良市の小中学校教員の教育協議会の国際理解教育部会で「誰もが地球人」～ルーツをつなぐ～をテーマに、講演を行い、トビタテ！留学JAPANでの体験等も交えながら、ガーナという国について、留学にいたる経緯や留学で気づいたことを語った。

その中で、「グローバル人材とは？」という問いに対して「世界であっても、日本であっても場所は問わずに”どこでも輝ける人”だと思う。」と語り、「これからの子どもたちには、自分の輝ける場所が日本になくても、海外にあるかもしれないので、そういう選択肢の一つとして留学があるということを知って欲しい。教員のみなさんには、選択肢がいくつもあるということ子どもたちに教えてあげて欲しいと思う。」というメッセージが語られた。

参加した教員からは、「小学校の子どもたちに語って欲しい。」といった声があがり、今後、小学校でトビタテの留学体験を語る機会もあればと考えている。



# 地域の声 (奈良市)



## 【奈良トヨタ株式会社】

自らの半生を振り返った時、人生や仕事に迷う時期にチャレンジしたキリマンジャロ登頂が大きなターニングポイントになった。そこで出会った人や経験が今の私の支えになっている。

若者の内向思考と言われる中で、奈良という地域の活性化のためにも、学生には「環境を変える。時間の使い方を変える。会う人を変える。」ことを実践してもらいたい。留学活動と地域とのつながりをもてるこの「地域人材コース」は、まさにこの内容が実践できるプログラムであり、挑戦する多くの学生を応援したい。



奈良市留学支援コンソーシアム  
会長 菊池 攻 氏  
(奈良トヨタ株式会社 代表取締役)

## 【奈良県立大学 佐藤 可奈子】

奈良市内の結婚式場でアルバイトをして、日本ウエディングのおもてなしの精神やサービスの決め細やかさは広く世界で受け入れられると感じていた。また、アメリカではキリスト教の教えにより、LGBTの方が教会でウエディングを挙げたくても受け入れられないという現実もあることを知り、LGBTの方を対象にしたウエディングを奈良の寺院で行うための体制を整えることで、関連する業種が活性化するだけでなく、寛容な「奈良」というイメージで奈良を訪れる観光客も増えると考えた。

留学先のハワイでLGBTの模擬結婚式をあげるための資金をクラウドファンディングで集め、ハワイでLGBTウエディングを希望するカップルを探るところから始め、式場探し、衣装レンタル等の手配までを現地で行い、結婚式を実現することができた。この経験を活かし、奈良でのモデルケースを作りたいと考えている。

留学先では、言葉の壁やトラブルでくじけそうな時もありましたが、壮行会の際に多くの企業・団体の方から応援いただいていることがわかり、留学中も決して折れないという強い思いで乗り切ることができた。



ハワイでのウエディングの様子

## 【学生データ】 第4,6,7,9,11期

**渡航国：**ガーナ、フランス(3)、イギリス(2)、ドイツ、アメリカ合衆国(5)、カナダ、中国、台湾、シンガポール/マレーシア、オーストラリア(5)、ニュージーランド、ドミニカ共和国

**留学期間：**  
1～6か月(平均4.0ヶ月)

- 留学計画の一例：**
- ・復興都市ドレスデンに学ぶ観光都市計画～古都奈良の歴史遺産と現代生活のよりよい調和を目指して
  - ・奈良市から世界へ！～奈良市をメジャーリーガーの養成の拠点に～
  - ・「安心・安全の観光地、奈良」の実現～観光地としての防災の責任～

### 採用学生の在籍大学：

- ・奈良県立大学(8)
- ・奈良女子大学(3)
- ・奈良学園大学(2)
- ・奈良教育大学(4)
- ・大阪大学(1)
- ・京都外国語大学(1)
- ・同志社大学(1)
- ・神戸市外国語大学(1)
- ・関西学院大学(1)
- ・帝塚山大学(1)



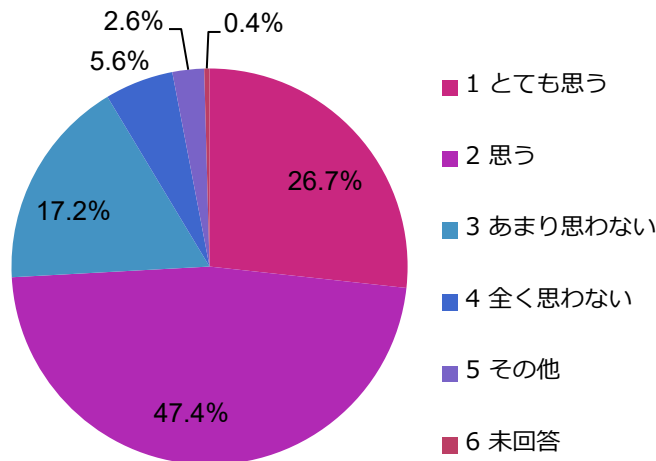


# 地域への定着（奈良市）



## 【次世代のトビタテ生を送り出す！】

母校の中学校での留学成果報告会のアンケート結果として、「自分も機会があればこの制度で留学をしてみたい」という生徒が37.9%、「自分の夢や将来を考えるきっかけになった」という生徒が74.1%であった。



**この報告会は、自分の進路や「夢」をみつめるきっかけに役立ったと思うか**

また、下記のような感想も生徒たちから寄せられた。

- ・私は今日の話聞いて知らない世界にも立ち向かっていくことの大切さ。日本がどれだけ恵まれているのか。ということ改めて感じさせられた時間でした。私は今、来年の夏休みに行われる1週間のアメリカ留学に行こうか迷っていましたが。でも今日、お話を聞いて行こうと決めました。私の背中を押してくださってありがとうございます。
- ・私も海外に行って視野を広げてみたいな。と思いました。当たり前のように大人になったら日本で仕事をしようと思っていたので海外という可能性もあるんだなと思いました。可能性は無限大という言葉信じてこれからも頑張っていきたいと思います。

このように、自分たちの身近な先輩からのメッセージを受けたことで、次世代の若者に対する留学気運の醸成を図るだけでなく、生き方を考えるというキャリア教育としての役割も果たしている。

第4期生の1名は、奈良市留学支援コンソーシアム加盟大学である近畿大学(農学部)に就職し、平成29年4月から勤務している。

**【留学先・期間】**：フランス（パリ）・2ヵ月

**【留学内容】**：近年、パリで流行中の抹茶を、食材としてではなく飲料として認知してもらえよう、日本茶（大和茶）を楽しむ人や、楽しむ機会を増やすことを目的に活動した。大和茶の市場調査を行ったり、パリジェンヌたちに実際に飲んでもらう機会を作り、提供した。



トビタテ地域人材コースでは、留学や地域貢献を通じて、グローバルとローカルの両面において考え、行動できるようになったと感じている。

### 【本人の声】

平成29年4月から近畿大学(農学部)の学生支援課で勤務している。私の出身大学よりも、留学を身近に感じている学生は少ないと感じている。ただ、農学部という特性から研究を通じ社会に貢献したいという学生は多くいるため、「留学したい」+「地域のために何かしたい」という地域人材コースにマッチした学生を見つけ、トビタテ生として送り出していければと考えている。そのような人材をより多く発掘することが、今、私が地域にできる貢献だと考えている。



職場での様子



# 香川県 (香川地域人材育成コース協議会)



香川県では人口減少に歯止めがかからず、大学等進学者の県外進学と新卒者の県外就職を食い止めることが喫緊の課題であり、香川県ならではの地域資源や技術と関連の深い産業の発展を担う人材の確保は急務である。

本プログラムでは、香川県の産官学が一体となって目指している、香川の強みを活かした成長産業の発展と各重点プロジェクトの遂行に欠かせない人材を育成することを目的とする。海外市場も視野に入れて、諸外国の人びととの交渉や交流に必要な幅広い教養と、自分の強みや個性を活かしつつ実務面での国際業務を担えるグローバル・スペシャリストを育成する。

## 地域協議会基礎データ

### 【地域協議会代表者】

香川県知事 浜田 恵造

### 【運営事務局】

国立大学法人香川大学 教育・学生支援部 国際課

### 【地域協議会の構成員】

<地域企業・経済団体>

高松商工会議所

JICA四国

JETRO香川

香川経済同友会

<高等教育機関>

国立大学法人 香川大学

香川県立保健医療大学

学校法人四国高松学園 高松大学

学校法人四国学院 四国学院大学

学校法人村崎学園 徳島文理大学香川キャンパス

学校法人四国高松学園 高松短期大学

学校法人尽誠学園 香川短期大学

独立行政法人国立高等専門学校機構 香川高等専門学校

学校法人穴吹学園

<地方公共団体>

香川県

高松市

## 【地域協議会による事業運営】

### Student Ambassador of Kagawaの委嘱

本プログラムに採用された派遣留学生には、香川地域の国際化ならびに若者の県内定着による県の各種産業等の発展へ貢献することが期待されます。そこで、派遣留学生に「Student Ambassador of Kagawa」の称号を付与し、香川地域に貢献してもらう任務を委嘱することになっています。

派遣留学生は、留学先で香川の情報を発信し、留学先で収集した情報を県内産業界に提供することが期待されています。

### 例：藤田修太郎(第7期生)さんの活動

「二つの村の小学校で香川県の伝統工芸品である丸亀うちわ、日本語、日本文化を教えた。所属大学と近くの防衛大学では日本語を教えることと教える手伝いをした。日本語クラブがあり、そこでも日本語を教えた。日本を知らない人はいなかったが、東京や大阪などの都市の名前までしか知らない人が多かったが、自分の周りでは香川県に関して一番詳しくなったと思う。日本に対しての印象を直に聞くことができ、自分の想像とのギャップを埋めることができた。

物事を“わかる”と“教える”はすごく違うと理解するとともに、人に教えることの楽しさに気づいた。」



「うどん県」副知事 木内晶子氏  
による委嘱



藤田さんのアンバサダー活動の様子





# 留学前後の活動例（香川県）



## 【事前オリエンテーション】

香川が持つ強みや課題について認識を深めるとともに、地域との「縁と恩」を醸成し、留学の意義を見つめ直すことを目的として、令和元年7月14日（日）に第11期生事前オリエンテーションを開催しました。

事務手続きや渡航先での危機管理の他、香川県から県産品振興課の藤本圭一氏、支援企業の四国電力株式会社高嶋智典氏をお招きし、藤本氏からは香川の特産品について、高嶋氏からは電力の安定供給と四電の次なる成長エンジンの創出・育成への挑戦についてご講義をいただきました。

4名の第11期生たちも事前課題として与えられた香川に関するトピックについて英語でプレゼンをしました。「丸亀うちわ」「瀬戸内海」「はまち」「ため池」とテーマは様々であり、留学先で香川を知ってもらうための良い勉強会となりました。

最後に、第9期の先輩トビタテ生からもアドバイスを受け、留学に向けての不安や質問を相談する機会もありました。



香川県県産品振興課  
藤本氏の講義



四国電力株式会社  
高嶋氏の講義



第11期学生のプレゼンテーション

## 【香川地域壮行会】

令和元年8月6日（火）に香川大学幸町キャンパスにて「第11期派遣留学生 壮行会」を開催しました。浜田香川県知事を始め、地域企業、県内の高等教育機関等から約60人が参加しました。

派遣留学生は、支援企業や、過去にトビタテ！留学JAPANに採用されて留学した先輩学生などから激励を受けるとともに、留学で何を学び、いかに香川県に貢献するかについて決意表明をすることで、地域とのつながりを改めて認識をする機会となりました。

また、派遣留学生には、香川県と世界をつなぐ役割を果たすことを期待して「Student Ambassador of Kagawa」の称号が付与されました。



派遣留学生の決意表明



Student Ambassador of  
Kagawa 称号付与



支援企業代表からの激励



トビタテ！第11期生!!



# 留学前後の活動例（香川県）



## 【帰国報告会】

令和2年1月18日（月）に香川大学幸町キャンパス（オンラインで同時配信）にて「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム 香川地域活性化グローバル人材育成プログラム 派遣留学生帰国報告会」を開催しました。日本学生支援機構の担当者、寛善行学長をはじめ、支援企業・団体や事務局関係者、留学希望の学生など、オンサイト・オンライン合わせて約75名の参加があり、産官学と学生が一体となって香川県を盛り上げるイベントとなりました。

報告を行った学生は4名で、留学先はアメリカ合衆国2名、オーストラリア1名、ケニア共和国1名、留学テーマは教育・建築・水産・農業と多岐に渡っており、それぞれが独自の留学計画に基づいて実践的な活動を行い、そこで得た学びや気づき、留学先の国の現状、留学中のモチベーションの変化、今後の活動予定等を率直に語りました。「ロサンゼルスでコロナ感染が広がって瞬く間にスーパーの棚から物資が消えたのがショッキングだった」「多様な人々の集まる環境では、まず自分の意見を表明することの重要性を強く感じた」などの発表が印象的でした。フロアだけでなく、オンラインでも多くの質問があり、的確に回答する学生たちからは、留学で得た学びを活かし、香川の未来に貢献する若きグローバル・リーダーとして活躍するという使命感を持っていると感じることができました。

また、日本貿易振興機構（JETRO）香川貿易情報センター所長 岡田氏には、報告会の講評と合わせて、グローバル展開に関わる経験に基づいた講演をしていただき、「日本を出てみよう。日本人であることを誇りに思おう。」と海外経験豊富な方ならではのメッセージと、求められるグローバル人材像について語っていただきました。

平成27年度に開始した本プログラムは、今年度をもって現行の制度設計での実施が終了し、それぞれの地域での自立化が求められています。そのための総括の経過報告として、5期にわたって派遣した22名の取り組み全体についての振り返りがあり、参加した皆が、本プログラムを継続して実施することの意義深さについて実感した報告会となりました。



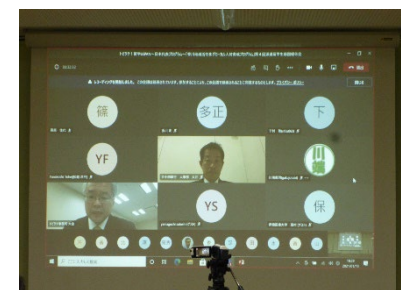
第9期派遣学生の発表



第11期派遣学生の発表



支援企業・団体代表による講評等



オンライン参加の支援企業等



地域事業関係者と学生の記念撮影







# 学生の声（香川県）



## 【夏目 佳奈】 第11期派遣留学生

留学テーマ：香川県産オリジナル品種開発の振興を目指して

（留学先） Teso North Sub-County-Agricultural Office,  
Ministry of Agriculture, Livestock and Fisheries（ケニア）  
（留学期間） 2019年12月～2020年2月

学部3年生で研究室に所属されてから、自分の専門分野を外の世界から見てみたいと思うようになりました。そこで香川県地域人材コースを利用して、研究テーマと絡めて香川県の農業を盛り上げられるような留学をしようと思いました。

現地では、私の研究室に在籍していたケニア人留学生にホストとなって頂き活動をしました。解析のための植物のサンプリングを行ったり、地元農家の方たちとのミーティングに参加しました。

トビタテ！での留学は自分で留学計画を立案するため準備段階から決して簡単なものではありませんでした。しかしトビタテ！で留学したことで得られた、経験や感情、メンタルの強さ、人脈は何にも代え難いものとなりました。



## 【村井 颯希】 第11期派遣留学生

留学テーマ：香川地域の魅力を生かした街づくりに貢献するために

（留学先） キャンベラ大学（オーストラリア）  
（留学期間） 2019年8月～2020年12月

香川で第2の家族とも言える人たちや「香川にまた帰ってきたい」と言ってくれる留学生と出会い、香川が大好きになりました。香川をより多くの人に知ってもらいたい、自分の専門性を生かして香川をもっと良くしたいと考えるようになり、トビタテ！香川地域人材コースに応募しました。

香川大学では建築構造分野を専門としていますが、建築の他分野も理解できる構造家になりたいと思い、留学先では建築デザインについて学びました。現地の学生と一緒にプロジェクトに参加し、公園の活性化を図るための建築を提案しました。ディスカッションやモデル作成、プレゼンテーションを通じて、相手に魅力的に伝えるための英語力とデザイン力を磨くことができました。また、目的や専門は違いつつも、同じ志を持った仲間に出会うことができました。



## 【学生データ】

渡航国：

【第4期生】

タイ、イタリア、スペイン、タンザニア、アメリカ合衆国、メキシコ

【第5期生】

タイ、フィリピン、マレーシア、インドネシア、シンガポール、アメリカ合衆国、カナダ、ガーナ

【第7期生】

スウェーデン、ドイツ、インドネシア

【第9期生】

タイ、ベトナム、ドイツ、アメリカ合衆国、スペイン

【第11期】

ニュージーランド、オーストラリア、アメリカ合衆国、ケニア共和国

期間：2～12ヶ月

在籍大学等

【第4期派遣留学生】

・香川大学(4名)

【第5期派遣留学生】

・香川高等専門学校(1名)

・香川大学(5名)

【第7期派遣留学生】

・香川大学(3名)

【第9期派遣学生】

・香川大学(4名)

・高松大学(1名)

【第11期派遣学生】

・香川大学(4名)

主な留学計画：

・香川県と海外のオリーブを日本に広げる地域活性化

・希少糖とサゴヤシを活用した健康食品の開発

・香川の魅力を最大限生かした街づくり貢献のための建築設計手法に関する研究活動

# 大分県 (大分県地域グローバル人材育成・定着協議会)



大分県では、経済のグローバル化や人口減少により国内需要が減少するなか、海外の活力を取り組むことで、地域に活力をもたらすことを目指しています。そのため、産学官が連携して設立したNPO法人大学コンソーシアムおおいたと大分県をはじめ、事業主旨に賛同した県内企業を中心に地域協議会「大分県地域グローバル人材育成・定着協議会」を2015年に設立しました。

地域貢献に意欲ある若者の海外留学を支援することで、グローバルな視点を持ち、帰国後地域で活躍する『地域グローバル人材』を育成します！

## 地域協議会基礎データ

### 【地域協議会代表者】

会長 北野 正剛  
(NPO法人大学コンソーシアムおおいた 理事長)  
(国立大学法人大分大学 学長)

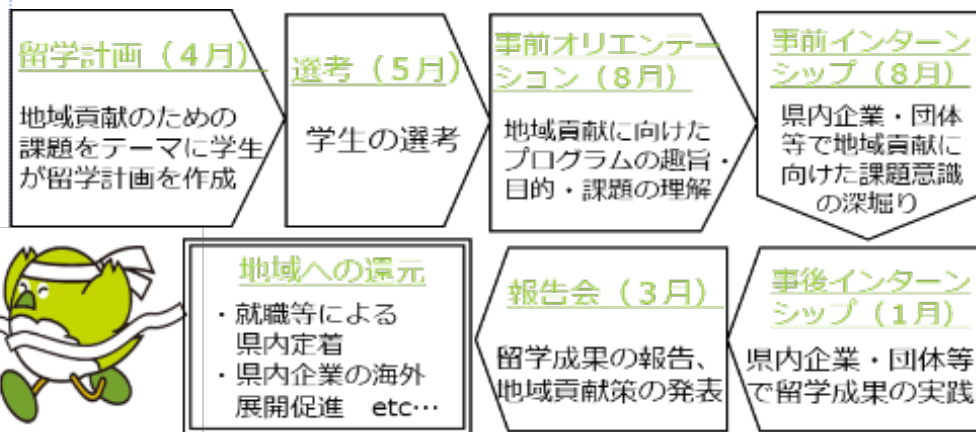
### 【運営事務局】

大分県  
特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいた

### 【地域協議会の構成員及び産学官の役割】

- <産業界> 11団体及び金融機関  
●主な役割：資金拠出、事業評価、選考会での面接  
インターンシップの実施
- <教育機関> 8団体  
●主な役割：学生の募集、広報活動  
留学プログラム作成及び学生のサポート
- <自治体> 大分県  
●主な役割：資金管理、プログラムの総括

## 【地域協議会による事業運営】



※地域協議会主催の事前勉強会



※事前仕組会の県知事訪問時



# 地域プログラム内容（大分県）



大分県はグローバルな視点で県内企業の海外展開などを担う将来の地域グローバル人材を募集。募集する分野は、九州のシリコンバレーと呼ばれてきた県内の**ものづくり**、民有林におけるスギ林の蓄積量では全国2位を誇る**林業（建築・デザイン）**、湧出量日本一の温泉に代表される**観光・サービス業**の3分野において、人材の育成・定着を行う。

## ◆地域プログラム概要

### ものづくり

海外のものづくりに関わる人材との交流が行えるプログラムを設計。県内の半導体メーカー等でインターンシップを行い、帰国後同企業に対し、情報ネットワークに関するビジネスイメージをプレゼンテーションする。

### 林業（建築・デザイン）

森林・木材の基礎的な知識、木材利用の意義と課題、木材活用の先進地での技術習得、大分県内での木材利用促進の在り方や建築・デザインを習得する。

### 観光・サービス関連

海外からのインバウンド観光の活性化を目的に、海外で観光振興を学ぶと共に実践活動を行う。国内では県内の観光協会や観光・宿泊施設等でインターンシップを行う。

派遣学生の在籍大学等

- ・大分大学 (25)
- ・立命館アジア太平洋大学 (4)
- ・日本文理大 (5)
- ・別府大学 (1)
- ・大分県立芸術文化短期大学(1)

累計36名

## 【留学事例】（林業（建築・デザイン）関連）

◆イタリア・オーストリアで林業×建築の最先端を学ぶ  
大分大学大学院 工学研究科 植月 和輝



近年、木材の有効利用の担い手として注目されているCLT(Cross Laminated Timber)の利用の実態調査を行い、大分県におけるCLTの活用方法や課題を見つけるべく、イタリアのローマ・ラ・サピエンツァ大学に留学。大学教員や地域コーディネーターの協力を得ながら、どの種の木材がどう加工されるのかCLTの製造過程調査、CLTで建てられた物件の構造や耐震強度の調査など積極的にフィールドワークを行った。帰国後は、留学で得た知識や経験を反映させ、更に見識を深め、大分そして日本の発展を促す研究に取り組んでいる。

## 【地域連携】

### ◆支援企業向け現地視察ツアーの実施

支援企業を対象に学生派遣先であるイタリアに視察ツアーを実施。現地では派遣学生が支援企業の社会人を案内。学生との交流機会になるとともに、企業にとっても現地情報収集や新たなビジネスのアイデアが生まれる機会となった。



### ◆地域イベントでの市民向け成果報告を開催

国際協力啓発のイベントである「おおいたワールドフェスタ」において、トビタテOB生が留学のプレゼンテーションを行い、留学の成果を地域へ還元すると共に、トビタテのPRや海外留学の啓発に取り組んでいる。







# 留学後の活動例（大分県）



## 【ミニトビタテ！inベトナム&カンボジア】

**目的：**留学に興味を持つ学生を増やす

- 1) 研修計画を学生自身が立てることで、自ら考えて行動する自主性と行動力を養う。
- 2) 国際的な視野を広げ、将来設計に生かす。
- 3) 海外に興味があるが金銭的な理由や語学力の不安などで行動を起こせない学生のために、きっかけを与え海外体験を促す。

**内容：**現地大学との交流  
現地の日系企業訪問

**期間：**約1週間

**対象：**大分大学生（全学部学年対象）

### 成果報告

学生たちが訪問したい企業やNPO法人について事前に調べ、研修計画を立て、アポイントを取り、実際に訪問するという実践型の研修を行うことで、参加学生が主体的に研修に関わり、自主性や行動力を養うことができた。

また、トビタテや留学に興味を持つ学生が増えたことも本研修の成果である。



現地企業での視察の様子



現地大学での集合写真



# 地域の声 (大分県)



## 【株式会社スズキ】

### ◆支援理由

地域の大学に在籍する学生が、国内外の企業や学術施設で専門分野を学ぶことができる機会を創出する、大変貴重なプログラムであることが大きな支援理由です。また、インターンシップを通じて地域企業の存在をまず知ってもらうことも、地域人材コースの魅力の一つであると思います。

### ◆本事業への期待

地域企業の多くにおいては、国内市場の縮小から海外展開を計画しています。学生時代に海外留学やインターンシップを経験した学生が、地域企業に入社し、地域と海外とのビジネスモデル構築が出来る存在となることに期待します。

## 【矢津田 昭仁/1期生】 (半導体分野)

### ◆応募理由

所属していた学生団体で、生産者と消費者の価値観の違いを経験→この差を、大学で専攻していた情報工学の技術で埋めれないか学びたい。

### ◆留学の感想

「proactive」の大事さを学びました。はじめの一步を自ら踏み出さないと何も始まらない。その信念を今でも大事にしています。帰国後はトビタテの良さを後輩に広めるべく、エバンジェリスト活動に積極的に活動中。



※平成28年度に開催された「留学成果報告会」にて見事 **優良賞を受賞** !!

## 【岩本 七海/3期生】 (観光分野)

### ◆応募理由

温泉県おおいの魅力をもっともっと発信していきたい! そのための観光政策やPR方法を学ぶべく、大分県と同じスパ王国欧州へ留学を決意。

### ◆留学の感想

「人とのつながり」を考えさせられた留学であった。留学先のみならず、トビタテのプログラムは、普通の学校生活では出会えない同世代の仲間や企業の方と交流することができる特別なつながりの場だと思っています。



※インターンシップ先での様子。

## 派遣留学生のデータ

### 【矢津田 昭仁】

渡航国  
アメリカ/カリフォルニア  
留学期間  
2015年8月～9月の1ヵ月間  
留学概要  
コンピュータサイエンスの分野でITがどのように貢献しているのか  
活動内容  
UCデービス校で授業受講  
日経企業でのインターンシップ  
Silicon Valley Japan  
University STPに参加

### 【岩本 七海】

渡航国  
イタリア/タイ  
留学期間  
2015年8月～12月の4ヵ月間  
留学概要  
ローマに学び、大分に活かす  
テルマエとウェルネスツーリズム  
活動内容  
イタリア・ローマ大学で授業受講  
テルマエ周辺地域での現地調査  
タイ(バンコク)での調査



# 平成29年度採択・事業実施地域

北海道  
静岡県





# 北海道（北海道創生・海外留学支援協議会）



## 北海道海外留学支援事業～トビタテ！道産子海外留学応援プログラム～

急速に進展する道内のグローバル化に対応するとともに、地域に定着して、力強い地域経済の確立や地域社会の活性化に貢献するグローバル人材を育成するため、北海道に貢献する意欲と能力のある本道在住の大学生等が企画立案した、本道の優位性を活かせる「農林水産業」「食関連・ものづくり産業」「観光産業」「環境・エネルギー産業」の海外留学、海外実践活動、北海道のアンバサダーとしての活動、道内企業等でのインターンシップを組み合わせた事業計画を支援します。

本事業は、北海道が創設した人材育成のための基金「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を活用する助成事業の「学生留学コース」として実施することとしており、4年目以降も継続的に実施する体制としています。

### 地域協議会基礎データ

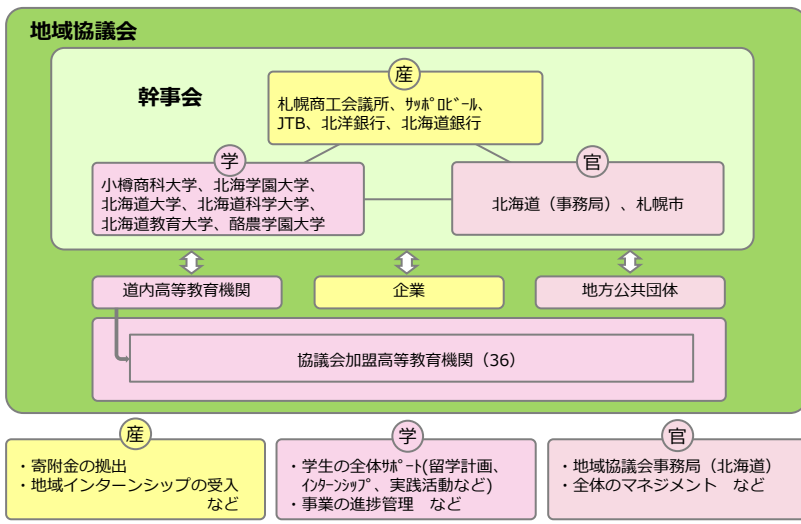
#### 【地域協議会代表者】

北海道総合政策部長 小野塚 修一

#### 【運営事務局】

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

#### 【地域協議会の構成員及び産学官の役割】



### 【地域協議会による事業運営】

北海道創生・海外留学支援協議会では、道内の産学官が連携して当該事業を運営しており、広域で実施するため、協議会内に幹事会を設け、事業計画、事業プログラムの策定及び実施、審査選考等の事業全般に係る事項を協議しています。

応募学生を協議会として管理・サポートする体制をとるため、地域協議会に在籍する大学の学生を対象としています。また、地域コーディネーターを中心に、道内の多様な関係者との連携を大切にしながら、道内に根付き、北海道に貢献できる学生の挑戦を応援しています。

#### ◆壮行会

壮行会では、基金の他3コースの若者とともに、協議会、地域の企業や関係団体から激励を受け、交流を図ることで、様々な支援を受け、地域を代表して挑戦するという意識付けを行うとともに、地域との繋がりを強めています。



#### ◆帰国報告会



帰国報告会では、基金の他の3コースの若者とともに、協議会、地域の企業や関係団体の方々に対し、支援に対する感謝を伝えるとともに、海外での学びの成果を報告。交流の場を設け地域との結びつきや北海道への貢献意欲を高めています。

#### ◆積極的な広報PR

支援する学生の活動実績、夢や計画、挑戦の様子を広く紹介することで、道内の海外留学機運の醸成や支援企業の増加に繋がるという考えから、ホームページやFacebookで積極的な広報PRを行っています。



基金ホームページ

静岡県は、「富国有徳」を県政の基本理念とし、物心ともに豊かな「富」を築き、有徳の人材の「土」を育てることを基本理念としている。高い志を持って社会に貢献できる自立した「有徳の人」、また、将来の静岡県経済界を牽引するグローバルリーダーを育成するため、熱意ある学生を支援していく。

## 地域協議会基礎データ

### 【地域協議会代表者】

理事長（静岡大学学長） 日詰 一幸

### 【運営事務局】事業実施委員会

事務局:静岡大学国際交流課、静岡県スポーツ・文化観光部大学課

### 【地域協議会の構成員及び産学官の役割】

本事業はコンソーシアムの「グローバル人材育成事業実施委員会」が運営を担当する。本事業に賛同する以下の者により構成する。

#### <産業界>

(株)静岡新聞社・静岡放送(株)、清水銀行、鈴与(株)、白井国際産業(株)、静岡ガス(株)、富士急行(株)、清水埠頭(株)、遠州鉄道(株)、田子の浦埠頭(株)、(株)万城食品、(株)はまぞう、(株)スモールワールド、アオキトランス(株)、沼津埠頭(株) 等

#### <高等教育機関>

静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、常葉大学、静岡理工科大学、静岡産業大学、沼津工業高等専門学校

#### <地方公共団体>

静岡県

令和4年6月1日現在

## 【地域協議会による事業運営】

静岡県内21の高等教育機関と企業、行政等が参加している公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアムが実施主体となり、地域コーディネーターと協力企業代表により事業実施委員会を組織している。

## 成果報告会

2021年2月4日、第11期生2名の留学成果報告会をオンラインで開催した。JASSO、支援企業・団体及び大学関係者等に参加いただいた。

派遣留学生は、留学中に学んだことや今後の目標を発表するとともに、支援企業への感謝の気持ちを伝えた。



成果報告会の様子



# 地域プログラム内容（静岡県）



## ◆地域プログラム概要

静岡県経済界で求められる人材像を定め、幅広い分野で学生を募集し留学を支援する。

- ①ものづくり分野で活躍する人材：新エネルギーや航空宇宙、自動車産業等本県の強みであるものづくり分野
- ②観光振興や地域活性化の分野で活躍する人材：本県の世界水準の魅力を活かした観光振興、地域活性化の分野
- ③多様な分野で活躍する人材：スポーツ、芸術、教育、メディア、ファッション、日本文化等の分野

## ◆事例：静岡を日本一エシカルな県へ！～国際協力で海外との絆を深める計画

静岡県立大学国際関係学部 北村夏音

### インターンシップ

【受け入れ企業名】

富士ニュース社

【内容】

受入企業は、富士市の新聞社である。日刊紙とweb媒体を通し地域に根付いた情報を日々発信しており、地域住民が多く購読している。

留学体験記を7回分執筆させていただき、校正・修正後に掲載していただいている。掲載記事を読んだ地元の知人が多く反応してくださり、エシカル消費やフェアトレードについて、初めて知ったという声も多く、自身の言葉で発信できた実感を強く感じた。



連載1回目の記事



### 海外留学

【渡航国】

イギリス

【留学期間】

2019年9月23日～2020年6月6日

【内容】

フェアトレードやエシカル消費を日本国内に浸透させ、途上国で作ったアパレル製品の販売を目指し、先進地のイギリスに留学した。

現地では、国際協力やフェアトレードに対する意志のアンケート調査等を行った。留学中に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により帰国せざるを得なかったが、オンライン環境下で残りの活動を修了することができた。



語学コースの友達と

### 地域コーディネーターによる支援

- ・留学計画に関する相談、留学中の安全管理に関する講義
- ・インターンシップ受け入れ企業の開拓、企画調整
- ・留学後には、事後報告会での発表内容の指導や支援企業へのフォローを実施した。



# 平成30年度採択・事業実施地域

山形県



# 山形県（やまがたグローバル人材育成推進協議会）



山形県の産業や教育、文化面におけるグローバル化を推進できる「高度グローバル人材」を育成する。

- 問題意識の高いやる気のある学生に対して、魅力ある地域企業でのインターンシップの機会を提供し、地域企業との強い関係と新しい縁を作ること
- 県内学生の就職先候補の一つとして、地域産業、地域企業に目を向けてもらう機会の増加
- 学生たちが定着することによる地域創生、地域を活性化することの意味や重要性への認識の拡大

## 地域協議会基礎データ

### 【地域協議会代表者】

山形大学長 玉手 英利

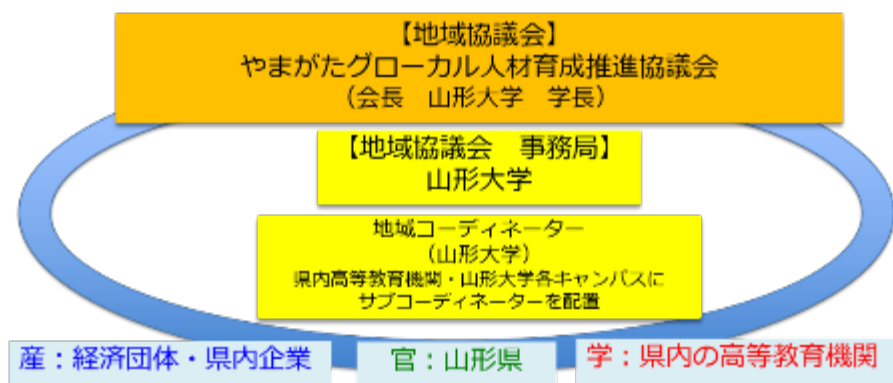
### 【運営事務局】

やまがたグローバル人材育成推進協議会事務局  
(山形大学インフォームルメント・マネジメント部国際交流課)

### 【地域協議会の構成員及び産学官の役割】

山形県内の高等教育機関（山形大学、鶴岡工業高等専門学校、東北文科大学・東北文科大学短期大学部）と経済団体、地元企業及び山形県の産官学が一体となり、本協議会を構成する。

- 県内各高等教育機関は、教職員をサブコーディネーターとして配置し、本プログラムに協力する。地域コーディネーターとサブコーディネーターが協力して、コースの設定・改善、学生の指導や予備教育、留学先の相談、海外旅行保険の加入の指導、安全管理および危機対応等を行う。さらに、国内および国外におけるインターンシップ受入先の選定や学生と企業との橋渡しを行う。
- 地域企業は、地域プログラムの実施においてインターンシップ受入れを担当する。また、学生選考や報告会、留学コースの設定等に参画する。
- 山形県は、県内に向けた広報を行うほか、留学プログラムにおけるコースの設定・改善に参画し、地域協議会の事務局である山形大学と共に壮行会、報告会を開催する。また、学生選考、事前オリエンテーションや事後報告会に参加する。



## 【地域協議会による事業運営】

### ◆やまがたの未来を切り開くグローバル人材育成プログラム

山形県の魅力の発信と課題の解決に寄与できる「高度グローバル人材」を育成する。

令和4年度のスケジュールは未定です。

- 2019年6月29日（土）事前オリエンテーション
- 2019年7月13日（土）壮行会
- 2019年8月～ 事前インターンシップ（2週間）
- 2019年8月～ 海外インターンシップ（28日～2か月）
- 2019年9月～ 事後インターンシップ（2週間）
- 2020年3月 報告会



# 地域プログラム内容（山形県）



## ◆地域プログラム概要

### 食・農業海外展開コース

山形県に特徴的な「四季折々に多様で豊かな農産物」を活かし、県内農業、農産物の海外展開に寄与できる「高度グローバル人材」

### ものづくり海外展開コース

県産品の海外展開、ものづくり産業を海外展開できる広い視野をもつ「高度グローバル人材」

### 地域国際化コース

県の産業や行政、教育などの分野を俯瞰的な視野でリーダーシップを発揮することが出来る「高度グローバル人材」

## ◆事例：山形県を牽引できる存在に！！ 山形大学 及川康太

### インターンシップ

#### 【受け入れ企業名】

ASEジャパン株式会社（山形県高畠町）

#### 【内容】

最初は幅広く業務内容についての見学などを行い、途中から一番興味のあるモールド工程という部分をメインに行いました。技術の問題点の解決プロセスなどを見学したり、実際に行い、エンジニアとしての仕事を生で感じました。

このような中でエンジニアとしての心構えを知ることができ、特に「現場を知っているエンジニアになりたい!」と思いました。というのも、現場を知らないより良い製品づくりができないと感じたからです。



工場見学  
(クリーンルームにて)



ASEジャパンの方々と



### 海外留学

#### 【受け入れ企業名】

ASE Kaohsiung (台湾高雄市)

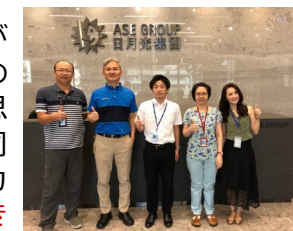
#### 【内容】

IC Chip のパッケージング技術について深く勉強を行い、そのプロセスの工場見学やミーティングに参加しました。

ASEジャパンと同じグループ会社ですが得意とする技術分野が異なり、その土地の環境等によって棲み分けの存在があると思いました。また、実力主義社会を感じて同時に不安も感じました。それは日本も実力主義社会が訪れていて「自分は〇〇ができます」という能力が必須になるからです。



ASE Kaohsiung



ASE Kaohsiungの方々と

### 地域コーディネーターによる支援

地域コーディネーターは、山形大学の医学部を除く5学部、鶴岡工業高等専門学校及び東北文教大学に配置した7名のサブコーディネータと連携して、募集説明会を開催するとともに、希望学生の相談に対してアドバイスを行う。

また、外部の民間委員と運営委員会を構成し、募集要項、選考要領を策定し、希望者の選考を行う。

1. 協力企業のニーズの把握・インターンシップ内容の打ち合わせ
2. 国内・国外インターンシップ先の環境視察
3. 希望学生へのインターンシップ先の紹介・個別相談





# 支援企業一覧

---



# 支援企業一覧 (平成27年度採択・事業実施地域①)

令和4年6月現在



地域名	支援企業一覧
石川県	<p>(株) アイ・オー・データ機器、アール・ビー・コントロールズ (株)、石川県信用金庫協会、E I Z O (株)、会宝産業 (株)、(株) 加賀屋、カタニ産業 (株)、(公社) 金沢青年会議所、金沢ホテル懇話会、キタムラ機械 (株)、小松マテーレ (株)、澁谷工業 (株)、ジェイ・バス (株)、(株) スギヨ、大同工業 (株)、大和ハウス工業 (株)、高松機械工業 (株)、タマダ (株)、佃食品 (株)、津田駒工業 (株)、中村留精密工業 (株)、日成ビルド工業 (株)、(株) 日本海コンサルタント、(株) ハチバン、(株) PFU、ホクショー (株)、(株) 北陸銀行、(株) 北國銀行、三谷産業 (株)、明和工業 (株)</p>
奈良県 奈良市	<p>奈良トヨタ株式会社、株式会社南都銀行、株式会社藤井書房、奈良交通株式会社、一般社団法人奈良市薬剤師会、富士通株式会社 (奈良支店)、株式会社サンルート奈良、小山株式会社、株式会社明新社、株式会社奈良ロイヤルホテル、株式会社八宝、奈良豊澤酒造株式会社、三和住宅株式会社、共同精版印刷株式会社、有限会社北川ビル、株式会社むさし野、北山医院、一般社団法人奈良県経済倶楽部、奈良県自動車整備工業協同組合、川崎法律事務所、一般社団法人日本自動車連盟奈良支部、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 (奈良支店)、東京海上日動火災保険株式会社 (奈良支店)、損害保険JAPAN日本興亜株式会社 (奈良支店)、シバタ製針株式会社、アスカ美装株式会社、有限会社栄林建設、トヨタレンタリース奈良株式会社、株式会社JTB (奈良支店)、奈良県自動車販売店協会、株式会社尾川建築設計事務所、株式会社奈良内田安全硝子店、株式会社アイブコム</p> <p>※令和4年3月31日現在</p>



# 支援企業一覧

(平成27年度採択・事業実施地域②)

令和4年6月現在



地域名	支援企業一覧
香川県	<p>(株)タダノ、(株)レアスウィート、医療法人社団西高松脳神経外科、帝國製菓(株)、四国旅客鉄道(株)、(株)レクザム、(株)ヒューテック、三和電業(株)、(株)百十四銀行、(株)香川銀行、(株)山本アソシエイツ、(株)山本ホールディングス、大川自動車(株)、(株)日本旅行、四国電力(株)、(株)STNet、(公財)松平公益会、サヌキ松谷(株)、(公社)香川県観光協会、(株)松浦唐立軒、メロディ・インターナショナル(株)、つながるネット(株)</p>
大分県	<p>(株)スズキ、柳井電機工業(株)、大分製紙(株)、(株)玉井木材センター、(公社)日本建築家協会九州支部大分地域会、(株)豊和銀行、大分デバイステクノロジー(株)、(有)アトリエ間居、ミウラクワノパートナーシップ(有)、日本ハウジング(株)、隆テック(株)、いとしや、山本真一社会保険労務士事務所、(株)ふたばタクシー、慧設計一級建築士事務所、詫磨商事(有)、(株)坂本礪業所、(株)ザイナス、(株)ネオマルス、(株)JTB大分、(株)大分銀行、(株)大分からあげ、(株)オーイーシー、大分県木材協同組合連合会、(株)EE設計、(株)三洋産業、(株)ヒロセ地所、新星工業株式会社</p>



# 支援企業一覧 (平成29年度採択・事業実施地域)

令和4年6月現在



## 地域名 支援企業一覧

【ほっかいどう未来チャレンジ基金への寄附企業】

(有)キョウゴク、大地コンサルタント(株)、(株)太陽グループ、(株)モロオ、(株)メディカルシステムネットワーク、(株)アインホールディングス、(株)アミノアップ、岩田地崎建設(株)、(株)H B A、(株)北菓楼、サツドラホールディングス(株)、札幌国際観光(株)センチュリーロイヤルホテル(物的支援)、札幌商工会議所、ジェイアイ傷害火災保険(株)、JFEエンジニアリング(株)、(株)JTB、清水建設(株)北海道支店、(株)セコマ、大成建設(株)、大和リゾート(株)ロイトン札幌、(株)丹波屋、千歳相互観光バス(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)ドーコン、日本ハム(株)中央研究所、(株)日本旅行北海道、NORTH CREATE、(株)HARP、(株)日立製作所北海道支社、(株)北洋銀行、(株)北陸銀行、(株)北海道銀行、(株)ホリ、(株)丸沼池内、三菱電機(株)北海道支社、三菱電機ビルテクノサービス(株)北海道支社、(株)N T T 東日本 - 北海道、道路工業(株)、(株)竹原鉄工所、損害保険ジャパン日本興亜(株)、(株)すし善、(株)丸升増田本店、クリプトン・フューチャー・メディア(株)、日糧製パン(株)、苫小牧信用金庫、アサヒビール(株)、萩原建設工業(株)、(有)京林トネリコ、大和証券(株)、(株)クレタ、イオン北海道(株)、マックスバリュ北海道(株)、第一生命保険(株)、(株)トイント、株式会社INDETAIL、株式会社カナモト、サッポロビール株式会社北海道本部、株式会社丸竹竹田組、株式会社グリットウェブ、株式会社タンカ、アクサ生命保険株式会社、ポート株式会社、株式会社マイナビ、株式会社アルビノ

(株)静岡新聞社・静岡放送(株)、清水銀行、鈴与(株)、臼井国際産業(株)、静岡ガス(株)、富士急行(株)、清水埠頭(株)、遠州鉄道(株)、田子の浦埠頭(株)、(株)万城食品、(株)はまぞう、(株)スモールワールド、アオキトランス(株)、沼津埠頭(株)、(株)篠原印刷所、アオイネオン(株)、アサヒ不動産(株)、(株)旭ライト、(株)アンビ・ア、良い広告(株)、(株)イシベフラワーセンター、(株)遠藤管工設備、大河原建設(株)、(株)カメラ教材、(株)紀伊國屋書店、サクライ石油(株)、静岡管公学生服(株)、静岡産業サービス(株)、静岡電話工業(株)、(株)静岡ビジネス、(株)静鉄アド・パートナーズ、(株)静鉄自動車学校、(株)シズデン、杉山教材店、静甲(株)、静清信用金庫瀬名支店、静清塗料(株)、セルコ(株)静岡支店、総合警備保障(株)静岡支社、大甲自動車工業(株)、トーカイシティサービス(株)、戸塚建設(株)、(株)トラヤ、中源被服工業(株)、(株)中田自動車学校、中野町産業(株)、(株)中村組、日管(株)、日興通信(株)静岡支社、(株)日交東海本社、野村證券(株)静岡支店、ヒライ管財(株)、平井工業(株)、(株)富士テレネット、藤吉工業(株)浜松支店、(株)古庄自動車学校、(株)松尾鉄工所、やまざき写真館、(株)弥生設備商会、(株)ユアーズ静岡、(株)吉見書店、(株)四葉商会、理想科学工業(株)静岡支店、菱和設備(株)、(株)イー・アンド・イー総合設計、SECIレベーター(株)静岡支店、大塚電気、(株)坂野クレーン、静岡県自動車学校、すみやグッディ(株)、(株)トーヨー、(株)内藤ハウス静岡営業所、(株)共臨社、(株)美興、(株)兵藤楽器店、(株)谷島屋、(株)ヤマシタ、(株)ユニティ

※令和4年6月1日現在



# 支援企業一覧 (平成30年度採択・事業実施地域)

令和4年6月現在



地域名	支援企業一覧
山形県	アイジー工業(株)、スズキハイテック(株)、(株)タカハタ電子、日東ベスト(株)、(株)ハッピージャパン、(株)山形メタル、(株)山本製作所、(株)山形新聞社、(株)チノー(山形事業所)、A S E ジャパン(株)、エヌ・デーソフトウェア(株)、(株)シェルター、(株)ウエノ、フジクラ電装(株)、東北エプソン(株)、ハイメカ(株)、一般社団法人山形県銀行協会、日本刃物(株)、浜理PFST(株)、(株)スガサワ